

第七十二回 支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號

(九)

昭和十二年九月八日(水曜日)午前十時六分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今カラ開會致シマス、昨日ノ委員會ニ引續キマシテ質疑ヲ行ヒタイト思ヒマス、質疑ノ御アリニナリマス諸君ノ發言ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 私少シニ三十分御願ヒ致シタインデアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 問題ハ五案トモ一括シテ問題ニ致シマスカラ……

○子爵大河内輝耕君 委員長ニ伺ヒマスガ、大臣ハ何時頃迄イラッシャイマスカ、ズット御出ニナリマスカ、ソレトモ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 大臣ニ對スル質問ヲ先ヘオ終ヒニナツタ方ガ宜クハアリマセヌカ

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ大臣ニ對スル質問ヲ致シマス、此ノ案ガ出ルニ付キマシテ世間ニ非常ニ心配ラシテ居ルノデゴザイマスガ、公債ヲ強制シテ持タセル、立法ノ手段、或ハ其ノ他ノ手段ニ依ツテ強制ヲシテ公債ヲ保有サセルト云フヤウナコトガアリハシナイカ、又次ニ會社ノ配當ナドモ法律其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ強制シテ制限

スルヤウナコトガアリハシナイカト云フノデ、財界ハ非常ニ心配ニアルヤウニナッテ居リマス、サウ云フヤウナコトハナカラウト思ヒマスガ、此ノ際之ヲ明カニ致シテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御尋デアリマスガ、本法ハ此ノ資金ノ使用セラレマス方向ニ付キマシテノ規定ヲ主眼ト致シテ居リマス、御話ノヤウナ法律ニ依リマシテ公債ヲ強制的ニ色々ノ會社、銀行等ニ持タセルト云フコトハ全然アリマセヌノデゴザイマス、尙配當ノ制限等ニ付キマシテハ全ク指定致スコトハ、只今考ヘテ居リマセヌ

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ議會ニ提案ヲ致シマシタ法律ハ全部デ十一程ゴザイマス、其ノ内デ臨時軍事費ノ財源ニ充テマス公債ノ發行權能ヲ得マスモノ、臨時軍費特別會計法又出征軍人ニ對シマスル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關シマスモノハ、ソレドシ個別的ニ御考ヲ願ヒマシテモ宜シイモノト尋ネ致シマスガ、政府ガ色々ナ方法ヲ澤山執ラレルノデ、萬一ノ用心ニ御ヤリニナルノデ、我々事務的ノ立場カラハ御察シシマスノデスガ、世間カラ見ルト、ナンダ餘り慌テ過ギテ居ルンデヤナイカト云フノデ、

○子爵大河内輝耕君 ソレカラ其ノ次ニ御考ヲ願ヒマシテモ宜シイモノト思ヒマス、ソレカラ馬ニ關シマスル法律案モ先づ引離シテ御考ヘ願ツテモ宜シイモノトノダラウト思ヒマス、ソレカラ軍需工業動員法ニ付キマシテハ、是ハ今回ハ戰爭ト云フコトニナツテ居リマセズ、又併シ實體ハソレト同ジヤウナコトガ非常ニ多イノデアリマス、ソレデ軍需工業動員法ガ戰爭ノ場合ニノミ發動致シ得ルヤウナ規定デアリマス

府ノ氣持ヲ一ツ明カニシテ置キタイ、ソレカラモウ一ツハサウ云フ風ニ色々出マスノデスカラ、之ヲ先達テ阪谷男爵ノ御話ノアッタヤウニ色々ニ前後ヤリ方ヲ誤タリスルト、睿易ナラザル結果ヲ起スノデ、之ノ実行ノ順序程度方法ト云フヤウナコトハ餘程慎重ナヤリ方ヲ要スルデアラウト思ヒマスガ、其ノ點ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタスガ、其ノ點ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタス

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ議會ニ提案ヲ致シマシタ法律ハ全部デ十一程ゴザイマス、其ノ内デ臨時軍事費ノ財源ニ充テマス、其ノ點ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタスガ、其ノ點ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタス

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ議會ニ提案ヲ致シマシタ法律ハ全部デ十一程ゴザイマス、其ノ内デ臨時軍事費ノ財源ニ充テマス、其ノ點ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタスガ、其ノ點ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタス

カラ、ソレヲ今回ノ事變ニモ發動シ得ルヤウニコトニ致シタノデアリマス、是モ其ノヤウニ御考ヲ願ヒマシテ宜シイト思ヒマス、ソレカラ又農林省カラ出マシタニツノ法案ハ、一ツハ斯ウ云フ際ニ米穀ノ需給ニ付キマシテ、相當政府米ヲ持ツテ居リマスコトガ必要ト考ヘラレルノデアリマス、此ノ意味デ是モ色々些少ノ脈絡ハアリマスガ、先づ引離シテ御考ニナツテモ宜シイノデアリマス、又疏安ノ問題ニ付キマシテモ一先づ引離シテ御考ヲ願ツテ宜イノデアリマスガ、後ノ一番主要ナモノト申シテハ語弊ガアリマスガ、比較的所謂戰時形態シテノ組織ノアリマスル考ヘ方ノ下ニ

出マシタモノガ、此ノ臨時資金調整法ト爲替管理法、其ノ一分派デアリマス、商工省カラ出マシタ輸入及輸出ニ關シマスル法律、此ノ二ツガ一ツノ組織的ノ意味ヲ持テ居ルモノデアリマス、船舶管理法モ同様ナ趣旨デアリマスガ、是ハ船舶ト云フコトニ局限サレテ居リマスカラ、一先づ引離シテ考ヘマシテモ分リ得ルモノデアリマス、先づ大體ニ於キマシテ臨時資金調整法ト輸入輸出ニ關シマスル法律案ガ二ツニナツテ

居リマスルガ、一ツノ思想カラ必要ナ方面ニ兩方分派致シテ居ルモノデアリマス、ソレハ外ノモノデモサウデアリマスガ、此ノ戦争ト同ジヤウナ状態、此ノ日支間ノ事件ニ付キマシテ、其ノ目的ヲ貫徹致シマスル爲ニ、直接ノ國防用又軍需産業其ノ他輸出産業ト、間接ニ國防ノ爲ニ必要デアリマスモノノ資材資金、之ニ附隨致シテハ勞力モ集中スル、斯ウ云フコトヲ主眼ト致シマシテ出來マシタ一貫シタ組織的ノモノデアリマス、詰リ一方ニ於テハ國內ニ於テサウ云フ物ノ生産ヲ増加シ、外國ヨリサウ云フ物ノ輸入ヲ増加スル、是ハ主トシテ生産設備ハ國內ニ於テ増加スルコトガ主デアリ、原料獲得關係ニ於テハ外國カラ得ルト云フコトガ、全然サウ分ケル譯ニハ參リマセヌガ、大體トシテサウ云フ行キ方デアリマス、ソレヲ致シマスル爲ニ、輸出貿易其ノ他ノ受取勘定ニ付キマシテ努力スルノヘ勿論デアリマス、一方支那貿易デアリマスルトカ、ソ海運收入デアリマスルトカ、事變ノ關係デ已ムヲ得ズ減ルモノモアリマス、又サウ云フ方面ハ只今直グ法制的ノ手段ニ依ツテ著シク進ミ得ルモノデナイノデアリマス、從ツテ他ノ此ノ際……平素トシテハ必要ト致シマシテモ、此ノ際トシテハ我慢ヲシ得ル物

ノ輸入ヲ減シマシテ、ソレダケ他ノ必要ナル物ノ輸入力ヲ増加スル、斯ウ云フコトガ、一ツデアリマス、ソレガ商工省ノ輸入ニ關スル制限ヲ爲シ得ル所ノ規定ノ理由デアリマス、同時ニ斯カル資材ノ輸出ヲ制限スル、現在デモ鐵ヤ其ノ他ノモノハ輸出ヲ或場合ニ依ッテハ制限スル、是ハ供給ヲ豊富ニ致ス一方面デアリマス、併シナガラサウ致シマスト、此ノ輸入ヲ制限致サレマシタ物ハ國內ニ於テ非常ナ不足ヲ呈シマス、其ノ不足ヲ呈シマスル場合ノ一ツノ大事ナコトハ、是ガ更ニ輸出產業ノ原料ニナルモノニ付キマシテ、輸出ヲ此ノ際出來ルダケ増加致シマスコトハ非常ニ必要デアリマス、其ノ原料ニ不足ヲ來サヌヤウニ致ス、言葉ヲ換ヘレバ國內消費ヲ此ノ際減サナケレバナラヌ、斯ウ云フ眼目ニナルト思ヒマス、ソレデ輸入品及之ヲ原料ト致シマス物ノ製造デアリマストカ、配給デアリマストカ、消費ニ關シテ必要ナル命令ヲ出シ得ル、斯ウ云フ風ニ法律デナッテ居リマス、又其ノ中デ國民ノ日常生活ニ關係致シマスモノ、問題ハスクノ如キモノニ付キマシテハ法令ノ力ノ我々ノ衣類ニ關係スルモノデアリマスガ、ドウシテモ羊毛、棉花ヲ原料ト致シマスルミヲ以テ到底能クスル所デアリマセヌノ

常ニ昔ヨリ増加致シテ居リマス、兵器其ノ他ノ進歩、戦闘方法ノ進歩ニ依リマシテ増加致シテ居リマスカラ、戦用資材、所謂是ハ生産資材ト云フモノト略、同ジ範囲ノモ刺戟ニ依ツテ起リマスル産業ノ發展ニ委シノト思ヒマスガ、之ヲ漫然ト國內ノ通貨ノマシタナラバ、非常ナ是ハ物價騰貴ヲ來ス、ソレデアリマスカラ此ノ際ハ我慢ヲシ得ル方面ノ產業ノ新設擴張ハ暫ク待ツテ、各資材ガ直接ノ國防、間接ノ國防、即チ軍需工業ヤ輸出產業等ニノミ之ヲ集中スルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト思ヒマス、此ノ方法ヲ執リマセヌデ置キマスト云フコトハ、現代的ノ戰爭ニ於テノ、マルデ定石ノナイヤリ方デアリマス、現代デハナイ、既ニ世界戰爭、モウニ二十年以上モ經ツテ居リマス世界戰爭ノ時代デモ、交戰國ノ大部分ハ同ジヤウナ著眼ノ下ニ似タヤウナコトヲヤッテ居リマス、新シイコトデモ何デモナイ、當然ノ措置デアリマスカラ斯クノ如キコトヲ抛ツテ置キマシタナラバ、却テ世ノ中デハラカシイト思フ位ノ現象デアル、是ハ戰爭ニ伴フ定石ノ行爲デアリマスルカラ、別ニ不思議デモ何デモナイコトデアルノデアリマス、當然ノ用意ヲ當然ニ致スト云フ事柄デアリマス、尙御話ノ通り之ヲヤ

リマセヌ場合ヨリハ異タ状態デアルノデアリマス、達タコトガ起リマスレバ、必ズ多少ノソコニ所謂摩擦ト申シマスルカ、色々ノコトガ起リ勝デアリマスル爲ニ、之ヲ極力防グ、況ヤ不必要ナ色々ナ動搖ガ起リマスト云フコトハ最モ有害デアリマスルカラ、出來ルダケ法律ノ趣旨ト致シマスルコレ、出づテ一般ニ徹底ラ致スヤウニ致シ、之ガ運用ノ衝ニ當リマス者ハ能ク法ノ精神ヲ心得マシテ、殊ニ惡イ影響ヲ防グヤウニ十分ニ注意ラ拂ツテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○子爵大河内輝耕君 其ノ實行ニ付キマシテハ誠ニ結構ダト思ヒマスガ、當業者ノ意見ヲ能ク御聽キニナッテ且之ヲ尊重シテ御ヤリニナルト云フコトガ摩擦ヲ減ラス一番必要ナコト思ヒマス、勿論サウデアラウト思ヒマスガ、念ノ爲ニ伺ツテ置キマス。

○國務大臣(賀屋興宣君) 誠ニ御尤モノ仰セデアリマス、此ノ資金調整法ノ運用ノ一番大事ナ所ハ如何ナル産業ニ如何ナル程度迄ハ資金ヲ向ケテ宜シイカ、是ハ詰リ物資ガソニ向イテ來ルコトニナリマス、他ノ事業ハ此ノ事變ノアリマス間ハ容赦シテ貰フカト云フ區分ガ一番大事ナ所デアリマス、之ニ付キマシテ其ノ事柄ガ戰爭ノヤウナコ

トデアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテノ考ガ一番大事ナノデアリマスガ、同時ニ云フコトヲ避ケナケレバナラスト云フ方面モ勿論大事デアリマス、其ノ標準ヲ決メマスノガ法律案ノ第十一條ノ委員會デアリマス、其ノ委員會ガ最モ重要ナル役割ヲ致スコトニナラウト思ヒマスノデ、是ニハ今申上ゲマシタヤウニ軍事上、其ノ他ノ關係ガアリマスシ、政府ト致シマシテハ是ハ殆ド全部ノ各省ニ關係ヲ持ツテ居ル事柄デアリマス、官吏モ相當ニ參加ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、同時ニ最モ産業ノ實情ニ通ジタ方ノ御智慧ヲ拜借シナケレバナラヌ、又貴衆兩院ノ方ノ御加リモ願ハナケレタル標準ニ依ツテ金融業者自ラソコニ申込マレタル貸付ナリ、社債引受ナリ判断ヲシテ右左ニ決メテ行クト云フ自治的ノ調整ヲ非常ニ希望致シ、又金融業者ノ方ニ於キマシテモサウ云フ風ニヤリタイト云フ考ガアルヤウデアリマス、多分金融業ニ關スル限りナラヌト思ヒマスガ、大體ドノ位迄之ヲ御ヤリニナル見込デアリマスガ、其ノ邊如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 今ノ御話ノ點ニ付キマシテハ大河内サンノ御意見ノ御開陳ガアリマシタガ、私ハソレニハ御同感デアリマスカ、或ハ或團體ヲ造ツテ、ソコデ地方ニ於キマシテハ日本銀行ノ支店等ガ肝煎ヲ致シマシテ、其ノ標準ノ適用ニ付テ疑問ガアレバソコデ相談ヲシテ決メルト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、東京ノ大藏省トカ、商工省トカ迄一々之ヲ持ツテ參リマシテヤルト云フコトヲ避ケテ自治的ニ運ンデ行クト云フ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス

期ノモノデハアリマセヌ、短期ノモノデアリマス、生産資金ノ謂ハバ只今ノ所ハ需要增加、強ヒテ事件ガ擴大致シマシテカラ後ハ、其ノ事件ノ當初ニ於キマシテハ各方面デ先ノ見透シガ付キニクイノデアリマス、先ヅ警戒勝ニナル、ソレガ各方面デ警戒勝ニナリマスト、其ノ氣分ガ甲カラ乙ニ移リ、乙カラ丙ニ移リ非常ニ警戒氣分ニナル、サウ云フ際ニハサウ云フ際ニ適應スル措置ガナケレバナラヌ、例ヘバ社債ニ致シマシテモ段々資金ガ廻リマシテ、一般ニ引受ケラレ消化致サレルモノニ致シマシテ、一時ソレガ直グサウ云フ風ニ行カナイト云フ場合モアリマス、又既ニ發行シマシタモノノ一部ガ引受業者トカ、其ノ他ノ者ノ手ニ残ツテ居ル場合ハ、斯ウ云フモノガ一時金融ガ付キマセヌト、ソレガ爲ニ少シノ賣物ガアッテ下ルトカ何トカ云フコトデ全體ノ値ガ一時出來マシテ非常ニ工合ガ惡イ、公債ノ如キモノモ實際ノ取引ハ何萬トカ、何十萬ノ程度デ以テ市中相場ハ出來テ居ルノデアリマス、ソレガ大キナ賣買ガアッタナラバ上下共ニ大變ナ變リガアラウト思ヒマス、是等ノモノヲ一々短期間容易ニ日本銀行ニ持ツテ行ツテ、其ノ貸付ヲシテ貰フコトガ出來ルト云フヤウナコトハ、斯ウ云フ際ニハ適當

ナル措置デアル、詰リ短期ノ金融ノ調節ニ資スル、ソレガ長期ノ金融ガ本然ニ消化サレテ行クヤウナ場合ノ一時ノ繫ギニスル、斯ウ云フ風ナ意味ニ依ツテ行ハレテ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、今後モ先ヅ其ノ方針デズットオヤリニナルモノト承知シテ宜シイノデスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 左様デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 次ニ伺フノハ、是ハ條文ノ解釋デアッテ恐縮デスガ、大事ナコトデス

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ事變ヲ終了後、是ハ色々意見モアッテ斯ウ云フ風ニ

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ事變ヲ終了後、是ハ色々意見モアッテ斯ウ云フ風ニ

○國務大臣(賀屋興宣君) 事變ノ終了ト認メテ宜イカト云フヤウ

ナル措置デアル、詰リ短期ノ金融ノ調節ニ資スル、ソレハ政府ニ於テハ此ノ事變ヲ終了セシムレテ行クヤウナ場合ノ一時ノ繫ギニスル、ルコトニ關シテ日支兩國間ノ協定ガ出來マスカ、用兵ノ状態ガ略普通ノ有様ニナリマスカ、用兵ノ状態ガ略普通ノ有様ニナリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、今後モ先ヅ其ノ方針デズットオヤリニナルモノト承知シテ宜シイノデスカ

○子爵大河内輝耕君 事變ノ終了ト認メテ宜イカト云フヤウ

認メテ宜シイノカ、斯ウ云フ問題ニナル、斯ウ云フ問題ニナル、斯ウ云フ問題ニナル、斯ウ云フ問題ニナル、斯ウ云フ問題ニナル、斯ウ云フ問題ニナル、斯ウ云フ問題ニナル、

ソレハ政府ニ於テハ此ノ事變ヲ終了セシムニ付テ支出ハ致シマセヌデ、勅裁ヲ、一定

ノ金額ニ付テ支出シ得ルト云フコトノ勅裁

ヲ仰ギマシテ、サウシテ支出致シテ居リマスカ、用兵ノ状態ガ略普通ノ有様ニナリマスカ、用兵ノ状態ガ略普通ノ有様ニナリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、今後モ先ヅ其ノ方針デズットオヤリニナルモノト承知シテ宜シイノデスカ

○子爵大河内輝耕君 事變ノ終了ト認メテ宜イカト云フヤウ

ルガ、其ノ金額ニ付テ其ノ儘直グ陸海軍省ニ於テ支出ハ致シマセヌデ、勅裁ヲ、一定

ノ金額ニ付テ支出シ得ルト云フコトノ勅裁

ヲ仰ギマシテ、サウシテ支出致シテ居リマスカ、用兵ノ状態ガ略普通ノ有様ニナリマス

スルガ、斯カル勅裁ハ別ニ平常サウ云フ規定ガアル譯デハアリマセヌガ、其ノ處置ニ致シテ勅裁ヲ仰イデヤツテ居ルノデアリマスガ、今回モ矢張リ豫算ノ御協贊ヲ願ヒマシテ、果シテ現實ニソレダケノ金額ガ要ルシタガ、是ハ所謂戰爭ト同シ狀態デアリマシテ、果シテ現實ニソレダケノ金額ガ要ルカドウカ、用兵、作戰ノ狀態モ臨機ニ依ッテ變ル場合モアリマス、矢張リ支出……

一々ノ支出デアリマセヌガ、矢張リ或範圍

或程度ニ金額ヲ限リマシテ勅裁ヲ仰グトニ依ツテ決定致シマス、此ノ勅裁ヲ仰ギマシテ

スノニ、今ノヤウナ狀態ニ立至リマシタ場合ニ勅裁ヲ仰グ、斯ウ云フ考デアリマス

ドレニ該當スルト云フコトハチヨット申上云フコトニ致シタイト思ヒマスガ、法令上

ゲ兼不マスルガ、矢張リサウ云フ風ニ勅裁ヲ仰グコトガ事變ニ關シマシテハアルノデ

アリマス

濟活動ハ部分的ニハ今ノヤウナ伸ビナイモノモアリマシテモ、全體的ニハ非常ニ伸ビルノデアリマス、資金モ非常ニ殖エルト思ヒマス、市場ニ流通スル必要ナル兌換券ノ量モ殖エルト思ヒマス、是ガ何億デアルカヘ申上ゲ兼ネマスルガ、私ニモ今何億カ直ダ見當ハ付キマセヌ、無論本年度内ニ於テ

何十億ト云フモノガ殖エルト思ヒマセヌ、何億ト云フ程度ノモノデアラウト思ヒマス、億ヲ以テ數ヘル量ハアリマセウ、ソレダケハドウシタツテ出シタ公債モ消化シナイト云フモノデアラウト思ヒマス、ソレハ一向差支ナイ、公債ノ消化ノ大事ナ所へ消化セザルガ故非常ニ多イ兌換券ガダブ付イテ參ルト云フコトデアリマス、必要ナル通貨ノ供給量ガ增加スル限度ニ於キマシテ殘リマスコトハ、是ハ差支ナイト思ヒマス、結局御尋ノ趣旨モ國民貯蓄ト云フモノハ戰時中ニハ殖エル、戰時經濟ガ健全ニ運行致シマス爲ニハ殖エル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○野村德七君 大體能ク諒承致シマシタノデスガ、結局水ハ権デ誘フテ、其ノ外ニ流レ出マス水ハ結局惡イ影響ヲ來サナイカカラ流レ出ルカラ、大キナ循環經濟ト云ヒマスカ、サウ云フコトデ戰爭ハ繼續シテ行

ケル、大體マアコンナ風ニモ御伺ヒスルノデアリマス、ソコデ其ノ間ニ、自然サウ云フコトデナクシテ、更ニ又愛國心ニ懇ヘテ、所謂愛國公債ト云フヤウナモノニ依ツ集モ敢テ辭セヌ、斯ウ云フ風ニ諒承シテ宜シイノデアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ詰リ事件ノ初ノヤウニ、經濟界ガ警戒氣分ニナリマス時ニハ、今御話ノヤウナコトハ致サナイ方ガ宜イト思ヒマス、マア私ノ言葉ハ過ギマスカ知レマセヌガ、必要以上ナ警戒氣分ガ出マスコトモ、何處デモ常例デアリマスルカラ、斯ウ云フ際ニ無理ニト云フノデアリマスコトモ、持チタイ方カラ見レバ、甚シヌケレドモ、初ハ金融ヲ潤澤ニ、圓滑ニ行キマスヤウナダ困ルト云フヤウナコトヲ愛國的ニヤリマスコトハ、却テ弊害ガアル、寧ロ事件ノ當初ハ金融ヲ潤澤ニ、圓滑ニ行キマスヤウナコトヲ主ニシテ參ツタ方ガ宜イト思ヒマスガ、其ノ中ニ法人ノ拂込ニ付キマシテ、此致シマスガ、大事ナコトデアリマスノデ此際伺ヒタイ、此ノ資金ノ調整法案デアリマスガ、其ノ先廻リヲシテヤツテ置カウ、能ク事情ヲ伺ツテ見ルト必ズシモサウ云フ際ニ増資ヲシ、事業ノ擴張ヲシナクチヤナラスト云ガ併シ物ニ依リマシテ唯サウ云フコトハナイト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ法律ガ出ルカラ其ノ先廻リヲシテヤツテ置カウ、能ク事情ヲ伺ツテ見ルト必ズシモサウ云フ際ニ増資ヲシ、事業ノ擴張ヲシナクチヤナラスト云ガコトヲ取止メテ貰ヒマシテモ、非常ナ支障ヲ生ズルト云フ譯デモナイ、一方其ノ事業ハリマシテ、法人ガ拂込ヲ決議致シテ居リマス、大阪ハ重役會ノ形式ニ依リマシテ、法人ガ拂込ヲ決定シテ居リマスノ金額ガ、約二億三四十萬圓ニ上ツテ居ル

ニ吸收調節スルト云フコトハ必要ニナツテ配ガアリマスヤウニ、多額ノ戰時資金ガ散布サレマス結果ニ付キマシテハ、ソレヲ適ルガ、段々普通ニ、此ノ戰時ノ經濟ニ御心ガアリマス、大體ノ行キ方ガ先程此ノ際ニハ國家的ニ考ヘレバソコニ金ガ行拂込徵收ヲ決定シテ居リマス會社ノ其ノ其ノ法ノ運用ニ付キマシテハ、サウ云フ經

人モサウ考ヘルノデアリマスルガ、其ノ一ノ实行ノ手段トシテハ、單純ニ是ガ利廻ガ好イカラ持ツトカ何カ好イカラ持ツトデアリマス、ソコデ其ノ間ニ、自然サウ云フ以外ニ、サウ云フコトガ此ノ際ノ時テ、租税ト同ジヤウナ見地カラ、公債ノ募集モ敢テ辭セヌ、斯ウ云フ風ニ諒承シテ宜シイノデアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ法律ガ出マセヌケレドモ、企業デモサウ云フ方面デモ、單純ナ營利ヲ追フト云フト云フコト以外ニ、國家全體ノ必要ト云フコトヲ考ヘテ貰ツテ、マア謂ハバ愛國的ト申シマスカ、サウ云フ見地カラノ自覺ヲ求メマスルコトハ極メテ、各方面ニ工合ガ惡イコトガ起リマシテ、サウ云フコトハ致シタクナイヤウニ思ヒマス、必要デアルト考ヘマス

○野村德七君 條文ニ瓦リマシテ甚ダ恐縮スコトハ、却テ弊害ガアル、寧ロ事件ノ當初ハ金融ヲ潤澤ニ、圓滑ニ行キマスヤウナコトヲ主ニシテ參ツタ方ガ宜イト思ヒマスガ、其ノ先廻リヲシテヤツテ置カウ、能ク事情ヲ伺ツテ見ルト必ズシモサウ云フ際ニ増資ヲシ、事業ノ擴張ヲシナクチヤナラスト云ガコトヲ取止メテ貰ヒマシテモ、非常ナ支障ヲ生ズルト云フ譯デモナイ、一方其ノ事業ハリマシテ、法人ガ拂込ヲ決議致シテ居リマス、大阪ハ重役會ノ形式ニ依リマシテ、法人ガ拂込ヲ決定シテ居リマスノ金額ガ、約二億三四十萬圓ニ上ツテ居ル

ニ吸收調節スルト云フコトハ必要ニナツテ配ガアリマスヤウニ、多額ノ戰時資金ガ散

布サレマス結果ニ付キマシテハ、ソレヲ適

レバ、場合ニ依リマシテハ考ヘ直シテ貰フ

ト云フコトモアルカモ知リマセヌ、ソレデ

カラ流レ出ルカラ、大キナ循環經濟ト云ヒ

マスカ、サウ云フコトデ戰爭ハ繼續シテ行

拜見致シマスル此ノ準備委員會ノ、所謂第

二種事業ニ屬スルモノモアルヤウデアリマ

スガ、是等ニ對シマシテハ無條件デ拂込ヲ

御認メニナルノカ、資本不足ノ状態カラ見

マスレバ、何等カ特別取扱ノ要モアルヤウ

ニ思フノデアリマスガ、ドウ云フ風ニ御決

定ニナツテ居ルノデアリマスカ、伺ヒタイ

ト思ヒマス

過的ト申シマスカ、過渡的ノコトニナカ
ナカ面倒ナノガ多イト思ヒマス、徒ニモウ
是デモツテ何デモ抑ヘ付ケルト云フヤウナ
コトモイケマセヌ、マア今ノヤウニ、少シ
言葉ハ悪イカモ知レマセヌガ、先廻リシテ
何デモヤッテ行クト云フヤウナコトガアリ
マシテモ面白クナイト思ヒマス、ソコラノ
事情ハ實際ニ當リマシテ最モ氣ヲ付ケテ、
大體善意カ善意デナイカト云フコトモ分リ
ニクイ話デアリマスルガ、普通ノ考ヘデ非
常ニ必要ガ起ツテ計畫サレタモノヲ、法律
ガ出タカラ其ノ途中カラ打切ルト云フヤウ
ナコトハ致シタクナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス

○野村徳七君 私ノ質問ハマダ後へ残シマ
シテ、一應……
○絲原武太郎君 私ノ御伺ヒ致シタイ點ニ
付キマシテハ、二三御質問ガアリマシタカラ
是ハ省略致シマス、現在ノ金融ノ梗塞ノ理
由ハ、生産力ノ擴充、資金ノ需要ノ旺盛ト、
金ノ現送ニ依リマス通貨ノ收縮ニ依リマス
結果等モ考ヘマスルガ、八月ニ於ケル銀行
預金ノ情況ヲ見マスルト、約三億五千萬圓
程度ノ預金ノ減少ヲ來シテ居リマス、一方
ニハ貸出ノ增加ハ約一億五千萬圓近クニ
ナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ梗塞ノ原

因バ、一ハ政府支拂金ノ停滯ガ大キナ影響
ヲ齎シタモノトモ察セラレルノデアリマ
ス、從ツテ政府ノ支拂ヲ迅速ニセラレタイ
ト云フ要望ガ經濟界ニアルヤウデアリマス
ガ、政府支拂方法ノ改善ニ付テ如何御考ニ
ナツテ居リマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 其ノ點ニ付キマ
シテハ、前ノ議會デ御協贊ヲ得マシタ此ノ

軍事費等モ、前述ノ支拂金額ハ割合ニ出テ
居ナイノデアリマス、其ノ事情ハ陸海軍
ニ於キマシテモ、何シロ軍事行動ノ目的ヲ
達スルコトガ主ナノデアリマスカラ、經理
ノ方面デモ注意ハ致シマスガ、ソレガ主ニ
ナリ、又多クノ部隊等ニ於キマシテハ御承
知ノ如ク豫後備ノ人ヲ召集致シマシテ、豫
後備ノ主計ガ經理ノ支拂ノ任ニ當ルト云フ
コトモ多イノデアリマス、サウ致シマスト
急ニ變ツタ所デ變ツタ手續ヲヤルト云フヤウ
ナコトニナリマスノデ、總テ此ノ政府ノ支
拂ハ間違ヒガナク慎重ニ行ク、是ハ國民ノ
負擔ニ依ル國費ノコトデアリマスカラ固ヨ

リ其ノ通リデアリマスガ、サウ云フ建前ガ
主眼トナツテ居リマス、ソレデ遅レルコト
ガアルノデハナイカト私共ハ想像サレル、
サウ云フ軍ノ忽忙ノ際デアリマシテモ、併

ス、從ツテ政府ノ支拂ヲ迅速ニセラレタイ
ト云フ要望ガ經濟界ニアルヤウデアリマス
ガ、政府支拂方法ノ改善ニ付テ如何御考ニ
ナツテ居リマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 其ノ點ニ付キマ
シテハ、前ノ議會デ御協贊ヲ得マシタ此ノ

軍事費等モ、前述ノ支拂金額ハ割合ニ出テ
居ナイノデアリマス、其ノ事情ハ陸海軍
ニ於キマシテモ、何シロ軍事行動ノ目的ヲ
達スルコトガ主ナノデアリマスカラ、經理
ノ方面デモ注意ハ致シマスガ、ソレガ主ニ
ナリ、又多クノ部隊等ニ於キマシテハ御承
知ノ如ク豫後備ノ人ヲ召集致シマシテ、豫
後備ノ主計ガ經理ノ支拂ノ任ニ當ルト云フ
コトモ多イノデアリマス、サウ致シマスト
急ニ變ツタ所デ變ツタ手續ヲヤルト云フヤウ
ナコトニナリマスノデ、總テ此ノ政府ノ支
拂ハ間違ヒガナク慎重ニ行ク、是ハ國民ノ
負担ニ依ル國費ノコトデアリマスカラ固ヨ

リ其ノ通リデアリマスガ、サウ云フ建前ガ
主眼トナツテ居リマス、ソレデ遅レルコト
ガアルノデハナイカト私共ハ想像サレル、
サウ云フ軍ノ忽忙ノ際デアリマシテモ、併

ス、從ツテ政府ノ支拂ヲ迅速ニセラレタイ
ト云フ要望ガ經濟界ニアルヤウデアリマス
ガ、政府支拂方法ノ改善ニ付テ如何御考ニ
ナツテ居リマスカ

此ノ春ノ議會ノ稅制ノ稅率如何ニ依テ多少ノ訂正ガアルトカ、ナイトカト云フヤウナコトハ別ト致シマシテモ、大體公債ノ利廻水準ヲ維持シ得ルト云フ。金融實勢ニ持ツテ行キタイト思ヒマス、從テ外ノモノモ大體論トシテサウ逆轉ハナイト思ヒマス、ソレデ其ノ程度ニハ常ニ資金ノ潤澤ヲ期シタイ、一方又企業ノ方モ今御協贊ヲ願ツテ居リマスヤウナ方針デ通シテ行キタイ、是ガ餘リニ片方ガ殖エマスト、相當資金ヲ出シマシテモ尙金利ガ上リ、段々御心配ノ方向ニ行クノダト思ヒマスカラ、サウ云フコトガナイヤウニシタイト思ヒマス。

○絲原武太郎君 御説明ニ依リマシテ御方針ハ拜承致シマシテゴザイマス、サウ致シマスト一番關係致シマス方面ハ、興業銀行ノ貸出方針ニ關係致シマスル社債其ノ他ノ放出資金ノ利率ニ關スルモノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシタヤウナ方針デオヤリニナリマスト、斯様ニ考ヘマシテ宜シウゴザイマスカ。

○國務大臣(賀屋興宣君) 大體サウデス

○絲原武太郎君 諒承致シマシテゴザイマス、次ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ、現在ノ物價ハ既ニ三割以上モ騰貴致シテ居リマス、國民ノ多數ハ生活費ノ騰貴ト

收入ノ跛行性ノヤウナ狀態ニ依リマシテ、ウナ形ニ相成ツテ居リマスガ、殊ニ軍事工事ニ依リマス收入ノ恩惠ノ乏シイ農山漁村業ニ依リマス所ノ、物價ノ不當ナル騰貴ヲ來スコトガ最モ恐ルベキ影響ヲ齎スモノデアルト考ヘルノデアリマス、御承知ノ通リ國民ヨリハ、七割ノ壯丁ガ兵役ノ義務ニ服シテ居ルノデアリマス、故ニ戰時體制ノ現時ニ於キマスル所ノ物價問題ト農村關係ニ付キマシテハ、殊更ニ銃後ニ於ケル農村經濟ノ安定上カラ申シマシテモ、是ハ一大問題ト致シマシテ御考究ヲ願ハネバナラスト考ヘルノデアリマス、仍テ現在實施ニ相成ツテ居リマス所ノ暴利取締ヘ、一層強化セラレマス必要ガアルト思ヒマスト共ニ、尙是ト同時ニ各種ノ物資ノ配給狀態等ニ付キマシテモ、深甚ノ御考慮ヲ御拂ヒニナリマス、極力物價ノ不當ナル暴騰ヲ未然ニ抑制スルヤウニソレヽ御準備ヲ御實行ニ相成リマスコトガ、此ノ際肝要ト思フノデアシテ、頃カラ騰貴ノ趨勢ガ阻マレテ居リマス、是ハ何處迄續ク現象カ分リマセヌガ、幾ラカ下落シテ居リマス、矢張リ日本モ其ノ影響ハ何處迄續ク現象カ分リマセヌガ、幾ラカモノハ、鐵其ノ他ノ物ハ除キマシテ、無イモノハ、人絹綿絲類ノ如キ

○絲原武太郎君 能ク諒承致シマシタ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 物ハ却ツテ下ツテ居ルト云フヤウナコトニガ、農山漁村方面ニハ非常ニ重大ナル影響ヲ齎スモノト考ヘマス、此ノ點ニ付キマシテ一應伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御質問中、御意見ニ屬シマスルコト、誠ニ御尤モト存ジマス次第デアリマス、只今ノ物價騰貴ハ内容ガバラヽヽデアリマシテ、金屬類其ノ他ノ物ハ非常ナ騰貴ヲ致シテ居リマス、其ノ他ノ物ハサウデモナイノデアリマス、平均致シマスト高イ割合ニナリマスガ、大概ノ物ハ一割トカ一割餘リトカ云フモノガ多イノデアリマシテ、金屬類其ノ他ノ物ハ、二倍以上、ヒドイ物ハ三倍ト、斯ウナツテ居リマスルカラ平均ハ高クナリマスガ、直接國民生活ノ關係トシテハ、所謂平均數カ示ス所迄モ參ツテ居リマセヌ、毛棉花等ニ付キマシテハ、相當ノ輸入量ガ減ツテ來ルト云フヤウナ結果ニナルト、思ヒマス、而モ輸出原料ナンカハ之ヲ減ラシタクナイト云フコトニナリマスト、所謂民衆ノ消費ニ向ケマスル綿製衣類ノヤウナモノハ缺乏ヲ致シマシテ、是ハ國民各自ノ消費節約ニ依ツテ行ケレバ結構デアリマスガ、若干物價騰貴等ノコトモアル、是ハ結局消費其ノモノヲ節約シテ貰フト云フヨリ仕方ガアリマセヌ、非常ニ國民ニハ氣ノ毒デハアリマスルガ、只今ノ所トシテハ已ムヲ得ヌト思ツテ居リマス

○絲原武太郎君 能ク諒承致シマシタ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メマス活ニ重要ナ影響ヲ及シマスデアリマセウ

〔速記中止〕

○委員長（伯爵兒玉秀雄君） 速記ヲ始メテ
下サイ

○森平兵衛君 大藏大臣ニ御尋ヲ致シタイ
ノハ、此ノ法規ノ何デアリマスガ、重要ナ
コトデアリマスガ、第二條ノ二行目ニ「事
業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ニ關
スル資金ノ貸付ヲ爲シ」云々、或ハ「有價證
券ノ應募」トカ、要スルニ是ハ私ノ考デハ
固定ノ資金ト云フコトニ看做シテ置ケバ宜
イノデアリマスカ、所謂流通資金ナラバ差
支ナイ、固定ノ資金ダケハイケナイト、斯
ウ云フコトニ解釋致シマシテ差支アリマセ
ヌデスカ

○國務大臣（賀屋興宣君） 御話ノ通リデア

リマシテ、詰リ工場デアリマストカ、或ハ
其ノ工場ノ建築材料、機械、サウ云フ風ナ
モノニナリマス資金ニ付テ是ハ目的ト致シ
テ居リマス、普通ノ運轉資金デアリマスト
カ、サウ云フモノハ差支ナイ積リデアリマ
ス

○森平兵衛君 總テ商事會社或ハ金融業者

ニ對シマスル所ノ資金調整ハ此ノ法律デ運
用ガ出來ルダラウト思ヒマスガ、併シ日本ノ
現狀カラ考ヘマスルト、政府以外ノ各地方
公共團體、或ハ地方廳ト云フヤウナモノノ

事業ニ投ジテ居リマスル資金モ甚ダ少カラ
ヌモノデアリマス、ソレデ既ニ昭和十二年度
ノ分ハ内務、大藏大臣ニ依リマシテ各地方
團體ガ認可ヲ得テソレドモ事業ヲヤッテ居リ
マスカラ、之ヲ差止メルト云フコトモ少シ
ドウカト思ヒマスガ、併シ昭和十三年度モ
最早目睫ニ迫ツテ居ルノデアリマスルカラ、
斯ウ云フモノニ對シテハ大藏省トシテハ此
ノ財政ニ付テドウ云フ御考ヲ以テ調整ヲ
ナサル御積リデアリマスカ、之ヲ此ノ儘矢
張リ放任シテ御置キニナレバ、民間ノ是ダ
ケノ資金ヲ調整シテ居ルモノト少シク均衡
ガ取レナイヤウナ感ジモスルノデアリマス
ガ、御伺スル譯デアリマス

○國務大臣（賀屋興宣君） 物資、資金、結局
勞力迄是ハ入リマス、戰時ハ労力モ問題ニ
ナツテ居リマスガ、之ヲ總テ同ジ考デ參リ
タイト思ヒマスルカラ、只今森サンノ御話
ニアリマスルヤウニ、民間ニ付テ求メマス
ルカラ、無論政府自體地方公共團體ニモ同
様ニ、或ハ寧ロ同様以上ニ之ヲ考ヘナケレ
バナラヌカト思ヒマス、ソレデ十三年度ノ

豫算ニ付キマシテハ直接時局ニ關係アル經
度全般ノ計畫ニ著手致シテ居リマスル譯デ
アリマスルカラ、御話ノ如ク十分ナルコト
ハ出來マセヌケレドモ、是モ出來ルダケ今
カラデモ取止メ得ルモノハ取止メタイト、
スウ云フ方針デ居リマス、地方公共團體ニ
對シマシテモサウ云フ意味ニ、豫算編成ニ
付キマシテ、恐ラク内務省カラ只今アタリ
方針ヲ指示致シマスル通牒ハ既ニ出テ居ル
ナデハナイカト思ヒマス、出シマスコトニ
相談ハ致シテアルノデアリマス、ソレカラ
地方債ニ付キマシテハ、是モ矢張リ地方公
共團體ノコトデアリマスルガ、本年度ニ於
キマシテモ出來ルダケ地方債ノ取止メ得ル
モノハ取止メルヤウニ、尤モ是ハ地方債ニ
依ツテ致シマスル事業ノ目的ニ依リマス
ノデアリマスルガ、既ニ一定ノ標準ヲ示シ
マシテ、通牒ヲ本年度分ニ付キマシテモ出
シテ居リマス、明年度以降同様ナ方針デ參
ルコトニ致サウト致シテ居ル次第デアリマ
ス

○國務大臣（賀屋興宣君） 誠ニ仰セノ如ク
デアリマス、其ノ方針デヤリマス、鐵ニ付
キマシテハ前内閣ノ時代ニ、官廳、政府關
係ニ付キマシテハ相當程度ノ節約ヲ致シ
テ、直接國防ニ關係致シマスルモノガ多イ
ノデアリマスルカラ、數量デハ左程ノ分量
デハアリマセヌガ、相當程度ノ節約ヲ致シ
マシテ、又地方團體ニモ鐵材ノ使用ニ付テ
ハ同様ノ方針ヲ示シマシテ、一足先ニ或程
度ノコトハ致シマシクノデアリマスガ、今
後ハ益々サウ云フ方面ニ付キマシテハ御話

○國務大臣（賀屋興宣君） 物資、資金、結局

勞力迄是ハ入リマス、戰時ハ労力モ問題ニ

ナツテ居リマスガ、之ヲ總テ同ジ考デ參リ

タイト思ヒマスルカラ、只今森サンノ御話

ニアリマスルヤウニ、民間ニ付テ求メマス

ルカラ、無論政府自體地方公共團體ニモ同

様ニ、或ハ寧ロ同様以上ニ之ヲ考ヘナケレ

バナラヌカト思ヒマス、ソレデ十三年度ノ

豫算ニ付キマシテハ直接時局ニ關係アル經

度全般ノ計畫ニ著手致シテ居リマスル譯デ

アリマスルカラ、御話ノ如ク十分ナルコト

ハ出來マセヌケレドモ、是モ出來ルダケ今

カラデモ取止メ得ルモノハ取止メタイト、

スウ云フ方針ヲ闇議デ決定致シテ居リマ

ス

○森平兵衛君 各府縣ノ地方團體又公共團

體ニ於キマシテ、或ハ港灣ノ修築、橋梁ノ

架換、學校ノ新築ト云フヤウナモノニ對シ

テ相當軍需ノ方デ要リマスル鐵材、鋼材ト

ス

○森平兵衛君 各府縣ノ地方團體又公共團

體ニ於キマシテ、或ハ港灣ノ修築、橋梁ノ

架換、學校ノ新築ト云フヤウナモノニ對シ

テ相當軍需ノ方デ要リマスル鐵材、鋼材ト

ス

ノヤウナ趣旨ヲ徹底致シタイト思ヒマス

○菅原通敬君 先刻大臣ノ御説明ニ付テ氣ガ付イタノデスガ、臨時資金調整法、爲替管理法、貿易管理法トモ云フベキ輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律、是等ノモノハ所謂戰時財政經濟ノ調整ヲ整へ統制ヲ圖ル思想カラ一貫シテ出來タモノデアル、所謂非常時立法デアル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、其ノ通リデアラウト思ヒマス、然ルニ此臨時資金調整法ハ其ノ法律ノ有效期間ガ、支那事變終了後一年以内ニ之ヲ廢止スルト書イテアル、所ガ此ノ爲替管理法及ビ輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律ニ付テハ、施行期間ト申シマスカ、有效期間ト云フモノガ書イテナイヤウデス、イヤ

輸出入品ノ方ハアリマス、爲替管理法ニハナイノデス、是ハ當時矢張リ戰時財政經濟統制ノ目的ヲ以テヤッテ頂クノデアリマスカラ、所謂非常時立法ト云フノデアルト、其ノ有效期間ヲ定メラレル必要ガアルト思フノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯セウ

○國務大臣(賀屋興宣君) 輸出入品等ニ關シマスル制限、禁止等ノ法律ハ、臨時資金調整法ト同ジク、事變終了後一年以内ヲ以テ終ルト云フ、規定ニ相成ツテ居ルト思ヒマス、

ス、爲替管理ニ付キマシテハ、只今ノ場合ニモ極メテ必要ナノデアリマスガ、爲替管理法トシマシテモ其ノ程度ノ改正ハ矢張リ必要デアルト思フノデアリマス、殊ニ爲替管

理ニ付キマシテハ、事變後モ相當ノ期間はハ必要デアリマシテ、是ノ事前昭和八年ヨリ大體行ハレテ居ルモノデアリマス、是ハ爲替管理法ノ改正デ御協贊ヲ經マシテ然ルベキモノダト、斯ウ思ヒマシタノデ、此ノ點ダケハ特ニ外ノモノヨリ離シマシタ、事變トシテモ無論必要デアリ、尙爲替管理ノ完全ヲ期シマスル爲ニ必要デアリマス、ソレデ特ニ終期ヲ設ケマセヌデ、爲替管理法ソノモノノ改正ヲ御願ヒ致シマシタ次第デアリマス

○菅原通敬君 爲替管理法ハ無論事變前、既ニ施行セラレテ居ル法律デアリマスルガ、サリナガラ是モ矢張リ平素ノ年ニ於ケル管理ノ必要カラ起ツタノミデナクテ、所謂此ノ非常時局ト云フモノニナツテカラ後ニ於ケル對外關係ノ色々ナ問題カラ促サレテ出テ來タヤウデアリマス、一種ノ非常立法デアル、更ニ今度支那事變ニ遭遇シテソレニ輪ヲ掛ケルト云フコトニナルダケノ話デアル、處ガ今度ノ支那事變勃發以來、茲ニ改

ス、爲替管理ニ付キマシテハ、只今ノ場合ニモ極メテ必要ナノデアリマスガ、爲替管理法トシマシテモ其ノ程度ノ改正ハ矢張リ必要デアルト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテモ本年一月迄ハ此ノ貿易ニ關シマシテハ、輸入ニ關シマシテハ發動ハ致シテ居リマセヌ、御話ノヤウナ全ク平時狀態ナラバ是ハ要ラナイ法律デアリマス、相當爲替關係デ變調ヲ呈シテ居リマスル間ニ行フノデアリマスカラ、非常時立法ト云フコトハ廣イ意味カラハ仰セノ通リデアリマス、此ノ前ノ議會デモ一部ノ改正ヲ願ヒマシタ

○國務大臣(賀屋興宣君) 爲替管理法ニ付キタ所ハ補充ヲシテ行ク、而シテ其ノ補充ヲ致シマシタリ、元カラアリマス規定ヲ一發動シテ居ルカト申シマスト是ハサウデハアリマセヌノデ、必要ニ應ジテヤッテ居ル、ソレデ今回御改正ヲ願ヒマシテ、其ノ

シマスル御質問ハ外ニゴザイマセヌデステ、此ノ方ハ管理法ノ改正ト云フコトデ案ヲ提出致シタ次第デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 大藏大臣ニ對シマスル御質問ハ外ニゴザイマセヌデス

○絲原武太郎君 モウ一つ御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒマス、此ノ臨時資金調整法ノ附則ニ「各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」とアリマス、此ノ勅令ヲ御發布ニナリマス豫定ハ何月何日頃ニナルヤウナ御見込デゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君)甚ダ恐縮デゴザイマスガ政府委員ヨリ御答致シマス

○政府委員(關屋忠三君) 御答申上ゲマス、此ノ法律ノ性質、出來ルダケ早ク必要ナル勅令ナリ省令ナリヲ制定致シマシテ、執行

シタイト考ヘテ居リマス、其ノ中ノ第十一
條關係モ勅令デゴザイマスガ、是ハ本法ガ
御協贊ヲ經マシテ公布セラレマシタナラ
バ、出來ルダケ早ク勅令ノ制定ヲ願ヒマシ
テ、施行シタイト考ヘテ居リマス、其ノ他
ノ條文ニ付キマシテハ出來ルダケ早ク準備
ヲ整ヘタイト考ヘテ居リマスガ、或ハ十日
前後掛ルノデヤナイカト豫定ヲ致シテ居リ
マス

○川村竹治君 私一ツ、今期ノ議會ニ政府

ガ法律案ヲ大分出サレマシタガ、是ハ多ク

統制ノ法案デアリマス、統制ト云フコトハ

我々モ或程度ニ於テハ是ハ必要ダト思フ、

殊ニ今度ノ事件ニ付テハ必ズ其ノ必要ガア

ルト信ジテ居ル、唯、今後經濟機構ガ統制

ヲ行フト云フコトニナレバ、甲ノ統制ヲ行

ヘバ乙ヲ行ハナケレバナラヌ、乙ヲヤレバ

又丙ヲヤラナケレバナラスト云フヤウニ段

段ニ統制ヲ行ヘナケレバ其ノ目的ヲ達セヌ

ト云フコトニ至ルノ虞ガアルト私ハ思フ、

ソレデ今度ノ支那事變ト云フノハ支那ノ横

暴ナル政府、支那軍ヲ膺懲スルト云フコト

デアリマスガ、又一面ニ於テハ共產主義ニ

對スル一つノ戰爭デアル、統制ハ共產主義

ヲ根本トシテ、共產主義思想ヲ根本トシタ

ル統制ト二種類アルト思フ、サウシテ是ガ

互ニ進行シテ行クト云フト殆ド其ノ區別ガ
分ラヌコトニナルモノデヤナイカト思フノ
ヲシテ、サウシテ共產主義ニ對シテ戰ヒ
似ルヤウナコトガアツテハ甚ダ由々シイコ
トダト思フ、此ノ點ニ對シテハ政府ニ於テ
モ注意セラレテ、今度ノ資金調整法ニ付テ
ハ一年以内ニ止メルトカ云フヤウナコトモ
アリマスケレドモ、亦其ノ他ノ法律ニ於テ
ハサウ云フ期限モナイ、段々是ハ統制ガ進
ンデ行クト云フト、一體ドコ迄統制ヲヤラ
レルカ、ドウ云フ根本思想デ御ヤリニナル
カ、之ヲ一應伺ヒタイ

○國務大臣(賀屋興宣君) 能ク、統制ハ統

制ヲ呼ブト云フコトガアリマスガ、御話ノ

ヤウナ趣ノコトモ見逃セナイツノ傾向デ

アルト思ヒマス、併シナガラ是モ私ハ譬ハ

非難ニ惡イノデアリマスガ、衆議院デ本法

ハ會社ノ新設ノ場合ニ幾ラカラヤルカ、五

十萬カラヤリマス、サウスル四十萬ノ會

社ヲ二ツ拵ヘレバ逃レラレル、サウスル

サウ云フモノモ亦考ヘナケレバナラヌ、斯

ウ脈ヲ引イテ參リマスト色々ナコトガアリ

マス、世ノ中ハ又或所多少キット右ト左ト

メテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ

ノ間ノミヲ、端ト端トヲ考ヘマスト工合ノ

ス

○川村竹治君 能ク了承致シマシタ、ドウ

ノ邊ハマア辛抱シテ宜シイト云フヤウナコ

トモアルコトト存ジマスノデ、成ルベク理

窟ニ拘泥シマシテ統制ノ範圍ヲ擴メルト云

トコトハ避ケ、必要ナル限度ノ所迄行キタ

イ、尙衆議院等ニ於キマシテモ色々役人ガ

ソレヲ持出シテ見ヨウ、斯ウ云フコトガア

ルノデナイカト云フ御尋ガアリマシタガ少

クトモ今日政府ト致シマシテ斯ウ云フ主義

デアルトカ何トカ云フコトデナク、今我ガ

國トシテ實行ヲ必要トスルコトハ飽ク迄モ

實行スル、必要トシナイコトハドコ迄モ避

ケテ行ク、所謂「ファツシヨ」デアルトカ、共

産主義デアリマストカ、サウ云フヤウナ考

デナク、現實ノ必要、不必要ヲ見テ定メテ行

ク外ハナイト思ヒマス、マア大キク申セバ

誠ニ日本精神ニ則リマシテ日本中ガ非常時

局ニ對スル其ノ力ヲ持ッテ、此ノ事變ニ對ス

ル我ガ國ノ目的ヲ貫徹スルコトニ必要ナヤ

デアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ爲替ノ問題

ハ戰時中モ大事デアリマスシ、戰後ガ大事

デアリマスコトハ御話ノ通リデアリマシテ、

歐洲戰爭等ニ於キマシテモ、大體ハ皆戰

相場ノ崩落、惡性「インフレーション」ト云

フヤウナコトガ起シテ居リマス、此ノ點ハ御

話ノ通リデアリマス、外ノ立法ニ致シマシ

テモ、事變後一年ト云フ期限ヲ置イタノハ急

ニ其ノ時ニ何モ彼モナクナルト云フ狀態ニ

ナルカナラヌカハ非常ナ問題デアリマス、

矢張リ此ノ法律其ノモノノ適用ト云フコト

モ事變ガ變リマシタノデアリマスカラ、恐

ラクハ多クノ場合ニハ適用シナイノデアラ

ウト思ヒマス、從ヒマシテ一年ト云フコト

ヲ置キマシテ、其ノ間ニ立法ヲ致シ、御協賛

ヲ仰ギマスル機會ヲ得ルト云フコトデ、事

變後明日カラト云フコトニナリマスト却ッ

テ工合ガ惡イノデ、一年ト云フ期限ヲ置キ

マシタヤウナ譯デアリマス、爲替ノ管理ニ

付キマシテハ、或ハ輸出入關係ハ今回ノ法

律ニ致シマシテモ、ソレ以外ハ本年一月以

前ニ於テ、主トシテ資本ノ逃避ヲ防グト云フ

見地カラ、色々ナ管理デアリマストカ、又

輸出入ニ關シマシテモ、法律ヲ止メマシテ

モ適當ニソレヲヤッテ行ク、色々御話ノ如ク

戰後ハ非常ニ大事デアリマス、或意味ニ於

キマシテ國民ノ覺悟モ事變ガ濟ミマスレバ

弛ミ勝チダ、是ハサウ云フコトヲ申スノハ

不適當デアルカモ知レマセヌガ、政府デモ

氣ガ弛ムト云フコトハ、戰爭中ヨリモ、殊ニ

アリトスレバ戰後ノ方ガ心配デアル、殊ニ

爲替問題ハ戰後ニ大イニ注意シナケレバナ

ラヌト思ヒマス

ト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 能ク御趣旨ハ分リマ

シタ、唯御趣旨トシテハ菅原サンヤ又川村

サント趣旨ハ同ジデアリマス、實際ノ問題

トシテ伺フニ過ギナイノデアリマスカラ、

ソコノ點ハドウゾ誤解ノナイヤウニ願ヒマ

ス、是デ大藏大臣ニ對スル質問ハ私ハ宜シ

ウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 大藏大臣ハ豫

算ノ方へ要求ガアリマスノデ、若シモ御差

支ガナケレバ他ノ政府委員ノ説明ノ方ニ

移リタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマス

カ……ソレデハ大藏大臣宣シウゴザイマス、

ドウゾ質疑ヲ御繼續願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 政府委員ニ御尋ネ致

シマスガ、此ノ爲替管理法ニアル外國ノ

資金、是ハ總額ドンナモノデ、形式ハドン

ナモノデアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 其ノ額ハチヨツ

ト發表シ兼ネルノデアリマス、左様御了承

ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 速記ヲ止メテヤッテ

イヤウナ考デアリマス

○政府委員(太田正孝君) 實ハ自信ヲ以テ

モイケマセヌカ

○子爵大河内輝耕君 順序ノ如ク、色々御

御話ノ如ク

トシテ同ジデアリマス、實際ノ問題

トシテ伺フニ過ギナイノデアリマスカラ、

ソコノ點ハドウゾ誤解ノナイヤウニ願ヒマ

ス、是デ大藏大臣ニ對スル質問ハ私ハ宜シ

ウゴザイマス

カウト云フコトニスレバドウ云フ點ガ擴マ

ルカ、其處ノ所ヲ具體的ニ伺ヒタイ

○政府委員(太田正孝君) 會計法ノ二十一

條ニ依リマシテ前金拂、概算拂ノ規定ガゴ

ザイマス、ソレヲ勅令タル會計規則ニ依ツ

テ出シテ居ルノデアリマスガ、其ノ前金拂

ノ方ニアル斯ウ云フ費目ハ宜イトナツテ居

ル中ニ、傭船料ト云フノガ入ツテ居リマセヌ

ノデ、尤モ内部ニ於キマシテハ運賃トアリ

リマセウカ、ドウデアリマセセウカ

○政府委員(太田正孝君) 愛國ト云フヤウ

ナ意味ヲ其ノ文字ニ付ケルコトモ致シマセ

ヌシ先程大臣ノ御話ガアリマシタヤウニ、

實ハ金融情勢ト斯ウ合ツテ行ク仕事デ

アリ、且軍事費ナンカノ關係デ大變ニ金ガ

落チマスノデ謂ハバタ立ノ時ニ泌ミ込ンデ

宜イ水ト溢レテ困ルヤウナ水ガアルト、サ

ウ云ツタ場合ニ行クノデアリマシテ、ソコ

ニ愛國ト云フヤウナ文字ヲ成ルベク使ハナ

イヤウナ考デアリマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、先

程絲原君ノ御聽キニナリマシタ内金拂デス

ガ、アレヲ法制上法律勅令其ノ他ヲ御改正

ニナル御考デアリマスカ、若シ御考デアル

トスレバドウ云フ點ヲ御改正ニナルノデア

リマスカ、又第二ニ實際ノ運用ニ擴メテ行

加稅ニ及ブモノト、斯ウ見テ宜シウゴザイ

マスカ

○政府委員(太田正孝君) 其ノ通デゴザイマス

○菅原通敬君 ソレハ地方税附加税ニ及ブト云フノハ何デスカ

○政府委員(太田正孝君) 第三種所得税、地租、營業収益税ノ附加税デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスト戸數別、家屋別ニハ及バナイ、斯ウ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 及ビマセヌ

○子爵大河内輝耕君 是ハ及シダ方ガ當リ前ノヤウニ私考ヘマス、所得税、營業収益税ニ及シダトスレバ戸數割、家屋税及ビ地方ノ營業税モ性質ハ似タヤウナモノダラウト思ヒマスガ、ソレヲ及サナイ譯ハ何處ニアルノデスカ

○政府委員(太田正孝君) 是ハ内務省所管ノコトデゴザイマスガ、申上ガル迄モナク地方財政ノ中ニ於ケル地方税收入ノ中デ戸數割、家屋税ハ重要ナル地位ヲ占メテ居ル、之ニ手ヲ觸レルコトガ交付金ノ問題ナドトモ絡マリマシテ非常ニ複雑ナル關係ヲ持ツテ居リマスノデ、今回ハ其ノ方ニハ觸レナイコトニシタヤウニ記憶シテ居リマス、但シ是ハ内務省所管ノコトデゴザイマスノデ

間違ツテ居リマシタナラバ 内務省所管ノ方

カラ申上ゲルコトニ致シマス

○子爵大河内輝耕君 次ニ伺ヒタノハ臨時資金調整法ノ二條ノ貸付ノ許可ヲ受クベキ貸付ノ範囲ハ、是ハ十萬圓ト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 其ノ次ノ三條ニ於キマシテ自治的調整ヲ主トシテ居リマスノデ、本當ニ許可ヲ受クベキ場合ト云フノハ殆ド無カラウカト思ヒマス、併シ許可ヲ受クベキ場合ガアリマシタ場合ニハ十萬圓以上トスル心組デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスト有價證券ノ方モ矢張リ同ジヤウニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ、有價證券ノ應募ノ方モ……

○政府委員(太田正孝君) 其ノ通リデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 自治的調整ト云フノハ大體ドウ云フ機關ヲ御使ヒニナル譯デアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 自治的調整ニ付キマシテハ色々議論ガゴザイマシテ、既存ノ例ヘバ手形交換所デゴザイマストカ、或ハ保険、貯蓄銀行等ノ色々機關ヲ利用シテ行カウカ、色々問題ガゴザイマシタガ、此ノ考ハ元々自治的統制ヲ爲サル方ガ主ニシ

ナッテ御考ヲ願ツテ置カナケレバ、機關ノ運用等モ旨ク行キマセヌノデゴザイマス、其

ノ意味ニ於キマシテ、大體今日迄話ノ進行等モ旨ク行キマセヌノデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、今現

在ニ於キマシテ五十萬圓以上ト以下ノ比例、比率ハドノ位ニナッテ居リマスカ

○子爵大河内輝耕君 其ノ團體ト云フノハドンナ團體ナンデスカ、御分リナラ言ツテ戴キタノデスガ……

○政府委員(太田正孝君) マダ名前ハ決ツテ居リマセヌ、只今申上ゲマシタヤウニ、自

治的統制ヲヤツテ行カレル方カラ先ツ案ヲ頂戴シテ、此方ノ意見ヲヤツテ行カウ、其ノ方ガ本法ノ運用上宜イデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居ル次第アリマス

○子爵大河内輝耕君 今アル既設ノ團體デ、大藏省デ、斯ンナモンナラヤレサウナモノダト思フノハドナンモノデスカ

○政府委員(入間野武雄君) 例ヘバ貯蓄銀行協會、或ハ信託協會、保險會社協會、或ハ又農工銀行ノ團體、サウ云フモノヲ一應考慮致シテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、次

ガ、五十萬圓ト承知シテ宜シウゴザイマスカ、

○政府委員(太田正孝君) 其ノ通リデス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、今現

在ニ於キマシテ五十萬圓以上ト以下ノ比例、比率ハドノ位ニナッテ居リマスカ

○子爵大河内輝耕君 其ノ資本金ヲ有シテ居リマス、而シテ其ノ資本金額ハ二百二十億ヲ越シテ居ルト考ヘマス、其ノ内、五十萬圓以上ノ公稱資本金ヲ有シテ居リマスル會社ガ百九十億圓以上ニ達シテ居ルト存ジテ居リマス、從ヒマシテ資本金ノ上カラ申シマスレバ、殆ド大部分ノ會社ガ其ノ中ヘ入ル、斯ウ云フ結果ニ相成ルカト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ次ノ質問ハ、是ハ深井サンカラ尙詳シク御尋モアラウト思ヒマスガ、私ハ唯事實ノコトダケヲ伺ヒタイノデスガ、此ノ二條ノ「業務ノ範圍命令ノ定ムル所ニ依ル」、是ハドウ云フ仕事ヲ茲ニ言ツテ居ルノデスカ、ソレカラ又此ノ八條ニアル「時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム」、是ハドウ云フモノヲ言ヒマスノデスカ、是ハ承

ル所ニ依ルト、衆議院デ御讀ミニナックト
云フコトデゴザイマスガ、ソレデ宜シウゴ
ザイマスガ伺ヒタイ

○政府委員(太田正孝君) 其ノ業態ニ付キ

マシテハ、此ノ席ニ於テ大藏大臣カラ申述

ベマシタ通り、實ハ非常ニ大キナ問題デア

リマスノデ、第十一條ニ依ル臨時資金調整

委員會ニ於テ決メルコトニナッテ居リマス、

但シソレノ準備委員會方出來マシテ、其ノ

作ツク原案ノ原案トモ言フベキモノヲ衆議

院ニ於テ、要求ニ依ツテ發表致シマシタノ

デスガ、確定致シタモノデゴザイマセヌシ、

斯様ニ特ニ御注意ヲ御願シタイト存ジマ

ガ、其ノ中ヲ二ツニ分ケマシテ、金ヲ向ハ

シムベキモノ、向ハシムベカラズトスルモ

ノトニツニキッパリ分ケナケレバ、ナラヌノ

デスガ、實ハ中間ニドウシタラ宜イカト云

フモノガナカ〜少ナカラズアリマシテ、

其ノ意味ニ於キマシテハ、之ヲキッパリ此處

ニ原案ノ原案デモ申上ゲルコトガ出來ナイ

モノガ數多クアルノデゴザイマス、左様ナ

御注意ヲ御願ヒ致シマシテ、理財局長カラ

其ノ業態別ヲ此處デ讀ミ上ゲサシテ頂キタ
イト存ジマス

○政府委員(關原忠三君) 事業設備ノ新設

等ヲ原則トシテ認ムベキ業種ト、成ルベク

事業設備ノ新設等ヲ爲サザルヲ可トスル業

種、一、事業設備ノ新設等ヲ原則トシテ認

ムベキ業種、金鑛、銅鑛、鉛鑛、錫鑛、「アン

チモン」水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、「ク

ローム」鐵鑛、「マンガン」鐵鑛重石鑛、水鉛

鑛、「ニッケル」鑛、「コバルト」鑛、燧鑛、石炭、

石油、砂金、砂鐵、砂錫、雲母、石綿ノ採鑛業、

明礬石、礬土負岩、耐火粘土、「アルミニ

ウム」原料用粘土、珪石、螢石ノ採取業、

人造纖維製造業、銑鋼一貫作業ニ依ル製鐵

事業、砂鐵貧鑛ノ利用ヲ目的トスル製鐵事

業、特殊銑(合金鐵、低燐鐵)鑛、鑄鋼品及

特殊鋼ノ製造事業、亞鉛、鉛、「アルミニウ

ム」、「マグネシウム」、「ニッケル」ノ精鍊業、

白金、水銀、錫、「タンクスデン」、「アン

チモン」ノ製鍊業及其ノ材料品製造業、輕

合金製造業、可鍛鐵、銅鑄物業、蹄釘、錨

鎖製造業、自動車用瓦斯發生裝置製造業、

「ガソリン」機關、重油機關製造業、採鑛選

鑛及精鍊機械器具製造業、金屬工機械、工

學工業用機械裝置製造業、氣體壓縮機製造

業、銃砲、彈丸、兵器製造業、自動車及其
ノ部分品製造業、機械車及貨車製造業、鋼
製本業、釀造業、清涼飲料製造業、「ソ一
シ」針及莫大小針ヲ除ク)、金鉛、板製品、
鍵及蝶番、其ノ他ノ建築用及家具用金物、
道具、家具及什器、建築鐵塔等ノ建設材料、
金、白金及銀器等ノ貴金屬細工品製造業、
「カーバイド」、「グリセリン」、「硝酸」、「メタ
ノール」、「クリオリット」等ノ工業
薬品製造業、染料中間物製造業、「カーボン
ブラック」製造業、火薬爆藥、導火索製造業、
石油業、人造石油製造業、「コールタール」
及「コールタール」分溜物製造業、「アルコ
ル」、「ベンゾール」等ノ代用燃料製造業、飛行
機、自動車及自動自轉車用ノ「タイヤ」及其
附屬品製造業、防毒「マスク」ノ製造業、「バ
ルプ」製造業、磷酸「カリ」製造業、研磨材料製
造業、電氣用「カーボン」活性炭製造業、
「コード」製造業、發電及送電ニ關スル事業、
造業、硫酸「アンモニア」、「ア
ンモニア」製造業、防毒「マスク」ノ製造業、「バ
ルプ」製造業、磷酸「カリ」製造業、研磨材料製
造業、電氣用「カーボン」活性炭製造業、
「コード」製造業、發電及送電ニ關スル事業、
石油輸入業、「成ルベク」事業設備ノ新設等
ヲ爲サザルヲ可トスル業種、長石、「ドロ
マイト」、「火山灰」、「滑石」等ノ土石採取業、人
造絹絲製造業(「アセチルセルローズ」絹絲ヲ
除ク)、眞絲製造業、絹絲紡績業、毛絲紡
織業、綿絲紡績業、人造絹絲物製造業、絹
織物製造業、綿織物製造業、網網類製造業、
蠟燭製造業、「フェノールレジン」製造業、木蠟製造業、
音器「レコード」製造業、「セルロイド」製造
業、精製毛皮製造業、糊料製造業、印刷及
製本業、釀造業、清涼飲料製造業、「ソ一
シ」針及莫大小針ヲ除ク)、金鉛、板製品、
鍵及蝶番、其ノ他ノ建築用及家具用金物、
道具、家具及什器、建築鐵塔等ノ建設材料、
金、白金及銀器等ノ貴金屬細工品製造業、
「アンチモン」器、「ペン」先、食卓用「ナイ
フ」、「フォーク」及「スプーン」、洋傘骨、
玩具等ノ金屬製品製造業、紡績機械器具製
造業、烹業用機械器具製造業、製紙機器具製
造業、食料品製造加工用機械器具製造業、印
刷及製本機械器具製造業、「エレベーター」
製造業、度量衡器製造業、時計製造業、計算
機、「タイプライター」等ノ事務用機械製造
業、寫真機、幻燈器及活動寫真機械製造業、
照明用機械器具製造業(探照燈ヲ除ク)、眼
鏡製造業、樂器類製造業、蓄音器製造業、
金庫製造業、陶磁器製造業(特殊品ヲ除ク)
屋根瓦製造業、「セメント」及「セメント」製品
製造業、珊瑚鐵器製造業(特殊品ヲ除ク)、賣
藥及賣藥類似品製造業、壓縮「ガス」(「アン
モニヤ」)及鹽素(「除ク」)、醋酸製造業、塗料
及顏料製造業(特殊品ヲ除ク)、石鹼及化粧
料品製造業、植物油脂製造業、木蠟製造業、
蠟燭製造業、「フェノールレジン」製造業、蓄
音器「レコード」製造業、「セルロイド」製造
業、精製毛皮製造業、糊料製造業、印刷及

<p>スケチヤップ類製造業、製菓業、製氷及冷凍業、製麵業、百貨店、旅館下宿業、娛樂及興關係事業、料理飲食店業</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタガ、是ハツノ方カラ見ルト云フ御話デ、軍需品ト、一ツハ又國際收支ノ關係ト、此ノ方カラ見テ決メラレルト云フコトナンデスガ、ソレデ今ノデ兩方ノ全部ヲ盡シテ居ル譯ズナ</p>
<p>○政府委員(太田正孝君) 先程申上ゲマシタヤウニ、マダ決マラナイモノガ相當アリマス、モウ一つ申シ落シマシタノデゴザイ</p>
<p>マスガ第八條第九條ニ依ル時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ノ未拂込ノ増資ラスル、或ハ社債ヲ二倍出セト云フ會社ノ方ノ關係ハ、司法省商工省ナドトノ關係ガアリマシ</p>
<p>ゲ兼ネル次第ゴザイマス</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 サウスルト是ハ兩方入ツテ居ルモノト解釋致シマスガ、色々數ガ多イノデ一々捕マヘルコトガ出來ナカッタノデスガ、例ヘバ旅館業ナント云フモノハ國際收支ノ上カラ餘程必要ナモノダト思</p>
<p>フノデスガ、ドウシテ是ハ成ルベクヤメタイ方ニ入ルノデセウカ</p>
<p>○國務大臣(賀屋興宣君) チヨット此ノ國</p>
<p>際收入ノ關係ノ考ヘ方ヲ一ツ端的ニ申上ガマス、是ガ今差シ向キ非常ニ大事ナモノデアリマスカラ、爲替管理ノ方デモ色々問題ガアリマスノデスガ、例ヘバ一千萬圓投資シマシテ、年々百萬圓國際收支ガ良クナル、一千萬圓ノ中、大部分ハ國內デ出來マシテモ、例ヘバ鐵ヲ使ヒマシテモ、其ノ結果外國カラ輸入シテ來ル一千萬圓ノ中、七百萬圓カ八百萬圓ヘ結局輸入ノ增加ニナル、初メノ固定ノ資本ガ、サウシテ後年々五十萬圓カ百萬圓ツツ増シテ行ク、平素ナラバスウ云フモノハ大變宜イ譯ズアリマスガ、ソコガ今ノ事態ニ取ッテドノ位ノ考へ方デ宜イカト云フコトガ一方大事ナモノデスカラ、ソレデ「ホテル」ニ致シマシテモ、</p>
<p>スカラ、ソレデ「ホーリー」ニ致シマシテモ、云フノトドウ云フ意味デスカ、是ハ擴張ラスカ、ソレデ「ホーリー」ニ致シマシテモ、云フノトドウ云フ意味デスカ、是ハ擴張ラスカ</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 サウスルト第二類ハ何處ニ入ル譯ズカ、成ルベクヤメタイト云フノトドウ云フ意味デスカ、是ハ擴張ラスカ</p>
<p>○政府委員(太田正孝君) 其ノ意味デゴザイマス</p>
<p>シテ見ルト、先ニハ大變宜イケレドモ、差宏壯ナ立派ナモノヲ造リマシテ、能ク計算シテ見ルト、先ニハ大變宜イケレドモ、差</p>
<p>シテ見ルト、先ニハ大變宜イケレドモ、差</p>
<p>シテ見ルト、先ニハ大變宜イケレドモ、差</p>
<p>シテ見ルト、先ニハ大變宜イケレドモ、差</p>
<p>ト存ジマスガ、サウスルト三ツニ分ケルノデスカ、成ルタケ此ノ八條ニ依ッテヤラセイモノト、ソレカラ成ルベクヤメテ貰ヒタ</p>
<p>スウ三ツニ分ケラレル譯ズカ</p>
<p>○政府委員(太田正孝君) 八條九條ノハ、</p>
<p>初メノ固定ノ資本ガ、サウシテ後年々五十萬圓カ百萬圓ツツ増シテ行ク、平素ナラ</p>
<p>バスウ云フコトガ一方大事ナモノデスカ、ソコガ今ノ事態ニ取ッテドノ位ノ考へ方デ宜イカト云フコトガ一方大事ナモノデスカラ、ソレデ「ホーリー」ニ致シマシテモ、云フノトドウ云フ意味デスカ、是ハ擴張ラスカ</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 サウスルト第一類ノ、認ムベキ業種ノ中ニ入ル</p>
<p>マシタ第一類ノ、認ムベキ業種ノ中ニ入ル</p>
<p>マシタ第一類ノ、認ムベキ業種ノ中ニ入ル</p>
<p>ト存ジマスガ、サウスルト三ツニ分ケルノコトニナル譯ズアリマス</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 矢張リ事態ニ依ッテ御分ケニナルト餘程ムツカシイコトデスガ、ソレダカラ成ルベクヤメタイト云フヤマシテ、年々百萬圓國際收支ガ良クナル、一千萬圓ノ中、大部分ハ國內デ出來マシテモ、例ヘバ鐵ヲ使ヒマシテモ、其ノ結果外國カラ輸入シテ來ル一千萬圓ノ中、七百萬圓カ八百萬圓ヘ結局輸入ノ增加ニナル、初メノ固定ノ資本ガ、サウシテ後年々五十萬圓カ百萬圓ツツ増シテ行ク、平素ナラバスウ云フモノハ大變宜イ譯ズアリマスガ、ソコガ今ノ事態ニ取ッテドノ位ノ考へ方デ宜イカト云フコトガ一方大事ナモノデスカラ、ソレデ「ホーリー」ニ致シマシテモ、云フノトドウ云フ意味デスカ、是ハ擴張ラスカ</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 サウスルト第一類ノ、認ムベキ業種ノ中ニ入ル</p>
<p>マシタ第一類ノ、認ムベキ業種ノ中ニ入ル</p>

ウゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ法律以前ニ

計畫サレマシタモノニ付キマシテハ、其ノ
計畫ガ進ンデ居リマスノミ、途中デ法律ガ
出マシテソレガ曲ゲラレルト云フコトニナ
ルト非常ニ御困リノ方面ガ多イト思ヒマス
ノデ、成ルベク是ハ其ノ儘ニシテ置キタイト
思ヒマス、唯前ニモ申上ダマシタヤウニ、是
ハ善意惡意ト云フ言葉ヲ使ヒマスノハ甚ダ
穢カデアリマセヌガ、ドウモ非常ナ不急ナ
事業デ計畫サレマシテ、其ノ時ニ止メテ貰
ヒマシテモ餘リ支障ガナイヤウナ場合ニヘ、
先ヅ是ハ懇談のニ話シマシテ、撤回ヲシテ
貰フヤウナ御相談ニ出ルカモ知レマセヌ

ノ拂込ノ方法ガ、例ヘバ分割拂込ミヲ催告
シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、「第
二回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメントスル
トキ」ト書イテゴザイマスガ、其ノ分割拂込
ノ適用ガナイノデゴザイマスガ、二回目ノ
分ニ付キマシテハ此ノ法律ノ適用ガアルヤ
ウニ、此ノ法律ノ精神カラ見マシテ解釋ス
ルコトニ司法省ト話濟ミニナツテ居リマス

○絲原武太郎君 大體諒承致シマシテゴザ
イマス、只今此ノ臨時資金調整法御實施ニ
付キマシテ御尋ネ致シマシタノニ對シテ、
此ノ法實施ハ、成ルベク速カニ御發布ニナ

スノモ、最モ早ク此ノ法律ヲ施行致シマシ
テ、尙其ノ委員會ガ初メカラ研究ヲ致スト
云フコトニナリマスルト、決定ガ遲レルト
思ヒマスカラ、準備委員會ヲ政府部内ダケ
デ作ッテ置キマシテ、其ノ委員會ガ審議スル
便宜ヲ與ヘマス爲澤山ノ参考資料ヲ出來ル
ダケ用意致シテ置ク、サウ云フ積リデアリ
マス、其ノ準備委員會ノ審議ノ参考ノ基礎
的資料トシテ用意致シマシタモノヲ先刻大

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今御話ノ國庫
保證等ニ依リマスル分ハ從前通り實行シテ
參ル積リデ居リマス、一般ニ資金ハ相當ニ
各銀行ニモ裕カニアルコトト考ヘマスル
シ、又軍需工業等ニ付キマシテモ前金拂ガ
出來ルコトニナリマスノデ、下請ノ注文ヲ
取リマシテモ、相當下請ヲ賴ミマス方モ前
金拂フ受ケタモノヲ融通スル力モ相當ニ出
ルト思ヒマスノデ、只今特殊ノ案ヲ今考ヘ
テ居リマセヌ、左様ナコトデ相當行ケルト
思ヒマス、尙今後實情ニ依リマシテ特ニ施

上起リハシナイカト考ヘルノデアリマス、是
ハ御質問ノヤウナ、成ルベク急速ニト云フ
コトヲ申上ダルヤウナ變ナ事柄デゴザイマ
スガ、急速ニ御ヤリニナリマスル御考デア
ラウトハ思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 誠ニ御話ノ通り
デアリマス、ソレデ既ニ御説明申上ダト
思ヒマスガ、此ノ十一條ノ委員會ヲ作リマ
スノモ、最モ早ク此ノ法律ヲ施行致シマシ
テ、尙其ノ委員會ガ初メカラ研究ヲ致スト
云フコトニナリマスルト、決定ガ遲レルト
思ヒマスカラ、準備委員會ヲ政府部内ダケ
デ作ッテ置キマシテ、其ノ委員會ガ審議スル
便宜ヲ與ヘマス爲澤山ノ参考資料ヲ出來ル
ダケ用意致シテ置ク、サウ云フ積リデアリ
マス、其ノ準備委員會ノ審議ノ参考ノ基礎
的資料トシテ用意致シマシタモノヲ先刻大

ス、此ノ中間期間ガ非常ニ長期ニ瓦ルト云
フコトニナリマス、相互ノ上ニ不利少ナ
カラスト思フノデアリマス、ソレデ私ハ先
刻凡ソ何日頃ノ御見込デ此ノ委員會ヲ經テ
シイカト思ヒマスガ、成ルベク早ク之ヲ御
命令ヲ御發布ニナリマスカ、左様伺ッタヤウ
ス

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今御話ノ第四條
ノ關係デゴザイマスガ、例ヘバ拂込催告ヲ
本法施行前ニ致シタモノニ付キマシテハ本
法ノ適用ハナイト考ヘテ居リマス、但シ其

○國務大臣(賀屋興宣君) 御質問ノ第四條
擴張等ニ付キマシテハ認可證ヲ出シテゴザ
イマス、チヨット其ノ區別ノ付キマスル所
ヲ政府委員ニ説明致サセマス

○絲原武太郎君 サウ致シマスト、矢張リ
此ノ種ノ事業ニ對シマシテモ、御調查ガアル
モノト承知致シテ居ツタ方ガ宜シウゴザ
イマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 矢張リ此ノ新設
資金調整委員會ガ組織ニナリマセヌケレ
ウ致シマスト、實際適用上第十一條ノ臨時
法、各種目ニ對シマシテモ、只今御朗讀ニ
ナリマシタモノノモ決定シナイコトニナリマ
ス、此ノ中間期間ガ非常ニ長期ニ瓦ルト云
フコトニナリマス、相互ノ上ニ不利少ナ
カラスト思フノデアリマス、ソレデ私ハ先
刻凡ソ何日頃ノ御見込デ此ノ委員會ヲ經テ
シイカト思ヒマスガ、成ルベク早ク之ヲ御
命令ヲ御發布ニナリマスカ、左様伺ッタヤウ
ス

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御答辯諒承致シマ
シタ、モウ一つ極ク簡單ナコトヲ御伺ヒ致
思ヒマス、尙今後實情ニ依リマシテ特ニ施

ノ拂込ノ方法ガ、例ヘバ分割拂込ミヲ催告
シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、「第
二回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメントスル
トキ」ト書イテゴザイマスガ、其ノ分割拂込
ノ適用ガナイノデゴザイマスガ、二回目ノ
分ニ付キマシテハ此ノ法律

ノ拂込ノ方法ガ、例ヘバ分割拂込ミヲ催告
シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、「第
二回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメントスル
トキ」ト書イテゴザイマスガ、其ノ分割拂込
ノ適用ガナイノデゴザイマスガ、二回目ノ
分ニ付キマシテハ此ノ法律

○絲原武太郎君 只今ノ御答辯諒承致シマ
シタ、モウ一つ極ク簡單ナコトヲ御伺ヒ致
思ヒマス、尙今後實情ニ依リマシテ特ニ施

相變ラズ金融難ノ狀態デ居リマスノデゴザイ
マスガ、デ時局ニ直面致シマシテ、自然ニ
其ノ方面モ産業資金ヲ要シマスコトニ相成
リマス上ニ、此ノ中小商工業者ノ中、小工
業者ノ方ハ軍需工業ノ下請モ相當各地方デ
致シテ居リマス關係上、一層此ノ小工業者
ノ資金ノ融通ガ此ノ際必要ダト思フノデア
リマス、之ニ付キマシテハ大藏省ハ何カ御
思ヒマスガ、此ノ十一條ノ委員會ヲ作リマ
スノモ、最モ早ク此ノ法律ヲ施行致シマシ
テ、尙其ノ委員會ガ初メカラ研究ヲ致スト
云フコトニナリマスルト、決定ガ遲レルト
思ヒマスカラ、準備委員會ヲ政府部内ダケ
デ作ッテ置キマシテ、其ノ委員會ガ審議スル
便宜ヲ與ヘマス爲澤山ノ参考資料ヲ出來ル
ダケ用意致シテ置ク、サウ云フ積リデアリ
マス、其ノ準備委員會ノ審議ノ参考ノ基礎
的資料トシテ用意致シマシタモノヲ先刻大

設スル必要ガアルト云フコトニナリマスレ

バ考ヘタイト思ヒマス

○**絲原武太郎君** 私ハ終リマシタ

○**野村徳七君** 更ニ絲原君カラ御質問ガア

リマシテ政府委員ノ御答辯ガアリマシタノ
デ、更ニ此ノ第四條ノ問題デ伺ヒタイノデ

アリマスガ、先程大藏大臣ノ御答辯ニ依リ
マスト、拂込通知ヲ出シテモ……私ノ申シ

マシタノハ法人會社ノ重役會ガ決議致シマ

シテ株主ニ拂込通知ヲ出ズノデアリマス

ガ、ソレデモ尙且不必要ナモノヲ取急イデ

此ノ際法令ノ出ル迄ニ拂込通知ヲスルト云

フヤウナコトハ、今俄ニ法律ニ對抗シテソ

ンナコトヲヤッタ場合ニハ認可セヌト云フ

ヤウニ伺ッタノデアリマスガ、只今ノ政府

委員ノ御説明ヲ伺ヒマスト、此ノ法令發布

以前ニヤッタ行爲ハ認マルト云フヤウニナ

リマスト、サウ云フコトハ戰時立法トシ

テ、先程ノ大藏大臣ノ御答辯ニ依ッテ、政

府ノ權力ヲ以テサウ云フコト迄徹底的ニ御

取締ニナルモノト斯ウ解釋シテ居ッタノデ

アリマスガ、只今政府委員ノ御答辯ニ依リ

マスト、ソレ迄ニ法定上ノ手續サヘ終ヘタ

モノハソレデ宜イノダ、斯ウ云フ風ニ解

釋モ致スノデアリマスガ、如何デスカ

○**國務大臣(賀屋興宣君)** 全然此ノ法律ニ

依シテ許可認可ヲ求メテ參ル必要ガナイト
云フ解釋ノモノニ對シテハ、是ハ全ク此ノ

法律ヲ離レタ話合ヒガ假ニ出來ルトスレバ
アリマス、ソレ以外ニハ何等方法ガナイノ

致シマシテモ、マダ拂込ノ通知ハシテ居チ

イト云フヤウナ場合ニハ、矢張リ許可、認

可ノ制裁ガアルト思ヒマス、サウ云フ場合

ニハ實情ヲ見マシテ、止メテ大シテ差支モ

ナイシ、又其ノ方ガ適當ダト云フモノハ致ジ

テ行ク、此ノ法律ニ依シテ許可モ認可モ得

ル必要ノナイモノハ、是ハ全然手ノ下シ様

ガナイト思ヒマス

○**深井英五君** 大藏大臣ニ伺ヒタイノデア

リマスガ、此ノ事業ノ新設擴張及之ニ對ス

ル資金ノ統制ハ、時局已ムヲ得ザル所ト思

ガ、只今理財局長ノ御朗讀ニナリマシタ統

制ヲ受クベキ事業、即チ新設擴張等ガ自由

デナイ事業、ソレガドウ分ケルガ宜イカ惡

イカト云フコトヲ私此處デ少シモ申スノデ

アリマスガ、只今政府委員ノ御答辯ニ依リ

マスト、ソレ迄ニ法定上ノ手續サヘ終ヘタ

モノハソレデ宜イノダ、斯ウ云フ風ニ解

釋モ致スノデアリマスガ、如何デスカ

解シテ妥當ナル消費節約ヲ行ッテ、サウ云

フ物ヲ使フコトヲ申ジマスレバ、却テ財界ヲ
レデ宜シイノデアリマスガ、必シモサウス
ガ不自由ニナルト云フモノハ、價格ガ騰貴ハ
アリマス、マダ拂込ノ通知ハシテ居チ

スル傾キガアルダラウト思ヒマスシ、此ノ

時局ノ際ニサウ云フ者モアリマスマイガ、

往々サウ云フ時ニハ、當業者ガソレヲ利用

シテ物ノ價格ヲ上げルコトニモナルノデア

リマスガ、サウ云フ心配ハナイノデアリマ

セウカ、若シアリトスレバソレニ對シテハ

リマスガ、サウ云カト云フコト

セバ、矢張リ是ヘ其ノ程度デ消費節約ヲ致

シテ物ノ價格ヲ上げルコトニモナルノデア

リマスガ、サウ云カト云フコト

ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○**國務大臣(賀屋興宣君)** 此ノ物價ノ問題

ニハ、基本ハ矢張リ需給ノ適合ニアルト思

フノデアリマス、ソレデ法令のノ自由ノ制

限ノ外ニ、國民ノ自覺ニ俟ツ消費節約ニ依

ルコトガ非常ニ多イト思ヒマス、是ハ迂遠

ノヤウデアリマスガ、ソコニ行ク外途ガア

リマセヌシ、眞ニ時局ヲ認識致セバ、サウ

致スノガ本旨デアルト思ヒマス、只今主ト

シテ私共ガ申上げテ居リマスノハ、輸入品

及輸入品ヲ原料トスルモノト云フコトヲ申

上ゲテ居リマスガ、是ハ的確ニ積極的ニ、

ハアリマセヌガ、其ノ新設擴張ノ自由ナラザ

マシタ既ニハ、其ノ新設擴張ノ自由ナラザ

ル方面ニ屬スルモノノ物價ハ、自ラ騰貴ス

ルダラウト思ヒマス、國民が眞ニ時局ヲ行

ソレ以外ノモノニ付キマシテハ餘り消費節

約ト云フコトヲ申ジマスレバ、却テ財界ヲ
萎縮シ、人心ハ萎縮スルニ過ギル所ガアリ
ス、併シナガテ之ヲ言葉通リ極メテ正確ニ
申シマスルオラバ、國內ノ生產品ト雖モ、
マスノデ、只今迄ソコヲ申シテ居リマセ

ヌ、併シナガテ之ヲ言葉通リ極メテ正確ニ

申シマスルオラバ、國內ノ生產品ト雖モ、
ガ不自由ニナルト云フモノハ、價格ガ騰貴ハ

アリマス、マダ拂込ノ通知ハシテ居チ

スヨリ外方法ガナインデアリマス、假ニ事

變ガ非常ニ擴大致スコトニ相成リマスレ

バ、勞力ダケカラ申シマシテモ、直接戰鬪

ニ從事スル者、又軍需關係ノ工業ニ從事シ

テ居ル者ト云フ風ナ、人口ノ其ノ部分ニ向

ヒマスルモノガ非常ニ増加致セバ、平和產

業ニ從事スル労力モ不足スルヤウナ場合

モ、是ハ段々ニ事變ガ擴大致セバ、十分想

像サレ得ルコトデアリマスカラ、國內ノ生

産品ト雖モ、之ガ消費ヲ節約スルト云フ場

合ハ起シテ來ルト思フノデアリマス、併シ

只今事變ノ初期ニ於キマシテ、直グサウ云

フコトヲ想像致シマスレバ、却テ國內產業

ノ打擊ニナルト云フヤウナ作用モアリマス

ノデ、是ハ今後事變ノ推移ヲ見定メマン

テ、ドウシテモ國內ノ製品デアッテモ色々

ナ關係上、其ノ生產力ガ足リナ、消費ノ

節約ヲシナケレバナラヌト云フモノニハ、

其ノ對策ヲ執ツテ參リタイト思ヒマス、尙擴

張新設等ニ付キマシテモ、現在ニ於キマシテ能力ノ餘ツテ居ルモノモアリマスシ、直チニ全面的ニサウ出ル必要ハナイト思ヒマスルガ、事態ノ推移ニ對應シマシテ、必要ナル處置ハ執ツテ參ラナケレバナラヌト思ヒマス。

○深井英五君 只今ハソレダケ伺ッテ置ケバ結構デアリマス。

○菅原通敬君 稟稅減免ノ法律案ニ付チヨット伺ヒタ伊ヒマス、軍人ノ從軍中ノ俸給手當ニ付テハ、所得稅法ニ於テ所得稅ヲ課セズト云フコトニナツテ居タト思ヒマスガ、ソレデ此處ニ定メテアラレル此ノ第三種ノ所得稅ニ付テノ規定ハ、多分私ノ考デハ、其ノ軍人ノ受クル俸給手當以外ノ所得ノコトヲ見テ定メラレタモノデハナイカト思ッタノデアリマス、然ルニ此参考書ニ示サレタ要綱ニ依リマスト云フト、減免ト云フモノハ從軍中ノ俸給手當ヲ算入セザル金額ニ依ツテ更訂スル、斯ウ云フコトヲ書カレアル、之ニ依ツテ見ルト恰モ軍人ノ從軍中ノ俸給手當ト云フモノガ、既ニ第三種所得トシテ課稅セラレテ居ルト云フコトノ下ニ於テ書カレアルヤウニ見エルノデルガ、是ハドウ云フ譯デアルカ、是ハ私ノ見方ガ惡イノカ、或ハ考ヘ方ガ惡イノ

カ、其ノコトヲ先ヅ一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス。

○政府委員(大矢半次郎君) 御答へ致シマス、所得稅法ノ第十八條ノ第一號ニ軍人從軍中ノ俸給及手當ハ所得稅ヲ課セズ、トアリマス、是ハ全ク御說ノ通リデアリマス、此ノ度ノ法案ノ第一條ニ規定シテアリマスル所ハ、此ノ年ノ所得決定後ニ從軍シタ者ニ對スル分デゴザイマス、御承知ノ通り今年分ノ第三種所得ノ課稅標準ハ大體五月頃ニ決定セラレマシテ、事變ノ起リマシタノハ七月、其ノ七月以降ニ出征致シマスル現役軍人モ所得稅法ノ第十八條ノ一號ニ依リマスレバ、從軍以降ハ課稅セナイコトニハ一ヶ月後ニ於テハ、減損更訂ノ規定ニ當嵌ルト云モノガ、ナインゴザイマシテ、今回特ニ此ノ第一條ヲ設ケマシテ、減損更訂ニ當嵌ラナイ者ニ對シテモ、減免ノ範圍ヲ擴張シテ適用シヨウト云フ趣旨デアリマス。

○菅原通敬君 十二年度ノ所得金額決定後ニ於テ出征シタル者ニ對シテノ適用、サウ云ザイマシタノハ、昭和十二年分、昭和十三年分、ト云フノガアリマシテ、先程御説明申上げマシタノハ、昭和十二年分、昭和十三年分、或ハソレ以降ノ場合ニ於キマシテモ、其ノソレハソレデ分リマスガ、此ノ第一條ノ方カ、其ノコトヲ先づ一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス。

ハ「課稅標準ノ決定ニ關スル特例ヲ設クルコトヲ得」第一條ニ於テハ「輕減又ハ免除スルコトヲ得」トアル、今御話ニナツタヤウニ、旨デゴザイマス、ソレカラ第一條モ第二條ス、中央本部ノ議會に於テの如き事務上、斯ウ云フ趣旨ヲ擴張シテ行カエ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、ソレカラ第一條モ第二條モ要スルニ輕減免除ニ外ナラナイノデアルガ、通俗ノ意味ニ於テハ全ク仰シヤル通りデアリマスガ、此ノ條文ヲ書キ分ケマシタノ書キ方デ宜シイ、單ニ十三年一度以降ノ分ノ此ノ以降ト云フノガ少シ曖昧デアルガ、ニ付テハ第二條ヲ適用シ十二年一度以降ノ分ニ此ノ以降ト云フノガ少シ曖昧デアルガ、サウナレバ十二年度分デ宜イ譯デアル、十二年分ノモノニ付テハ輕減又ハ免除トスノ書キ分ケラレタ趣意ガ少シ分ラヌノデアラガ、或ハ寧ロ此ノ第二條ト云フモノガナルガ、或ハ寧ロ此ノ第二條ト云フモノガナラヌ、其ノ一ツノ方法クテモ濟ムノデハナイカ、更訂スルコトモ十二年分ノモノニ付テハ輕減又ハ免除トスノ解説ト致シマシテ、一旦課稅標準ヲ決定シタ後ニ於テハ、減損更訂ノ規定ニ當嵌ルト云モノハ煩ハシクテ、却テ混雜スル嫌ヒガアル、ソコモ私ノ見方ガ惡イノカモ知レマセヌガ……

○菅原通敬君 ドウモハッキリシタコトハシテ置キマス、ソレカラ参考書ヲ引當テニシテ御尋ネショウト思ヒマス、又政府ノ御考ニナツテ居ルコトト私ノ考ヘテ居ルコトガ別デアレバ更ニ又御尋ネシナケレバナラヌト思ヒマスガ、「同居ノ戸主又ハ家族中ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬アル者ノ租稅ニ付之ヲ準用ス」ト云フ第四條ガアリマス、是ハ從軍シタル軍人及軍屬ト同居シテ居ル戸主若シクハ家族ハ租稅減免ニ付テノ準用ヲ受ケルト云フ恩典ニ浴スル譯デアリマス、處ガ此ノ参考書ノ方ニハ業務ニ從事スル同居ノ戸主若シクハ家族ニ限ツテ其ノ恩

ハ、第一條ハ課稅標準ノ決定後、稅額ガ決ツタ後、其ノ課稅ヲ輕減又ハ免除シヨウ、斯ウナレバ十二年度分デ宜イ譯デアル、十二條ノ方ハ當初ノ課稅標準ノ決定ニ對シテ例ヲ設ケヨウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス。

○菅原通敬君 ドウモハッキリシタコトハシテ置キマス、ソレカラ参考書ヲ引當テニシテ御尋ネショウト思ヒマス、又政府ノ御考ニナツテ居ルコトト私ノ考ヘテ居ルコトガ別デアレバ更ニ又御尋ネシナケレバナラヌト思ヒマスガ、「同居ノ戸主又ハ家族中ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬アル者ノ租稅ニ付之ヲ準用ス」ト云フ第四條ガアリマス、是ハ從軍シタル軍人及軍屬ト同居シテ居ル戸主若シクハ家族ハ租稅減免ニ付テノ準用ヲ受ケルト云フ恩典ニ浴スル譯デアリマス、處ガ此ノ参考書ノ方ニハ業務ニ從事スル同居ノ戸主若シクハ家族ニ限ツテ其ノ恩

タル者ニ對シテハ此ノ第一條ニ依ツテ減損更訂ノ範圍ヲ擴張シテ行カエ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、ソレカラ第一條モ第二條モ要スルニ輕減免除ニ外ナラナイノデアルガ、通俗ノ意味ニ於テハ全ク仰シヤル通りデアリマスガ、此ノ條文ヲ書キ分ケマシタノ書キ方デ宜シイ、單ニ十三年一度以降ノ分ノ此ノ以降ト云フノガ少シ曖昧デアルガ、ニ付テハ第二條ヲ適用シ十二年一度以降ノ分ニ此ノ以降ト云フノガ少シ曖昧デアルガ、サウナレバ十二年度分デ宜イ譯デアル、十二年分ノモノニ付テハ輕減又ハ免除トスノ解説ト致シマシテ、一旦課稅標準ヲ決定シタ後ニ於テハ、減損更訂ノ規定ニ當嵌ルト云モノハ煩ハシクテ、却テ混雜スル嫌ヒガアル、ソコモ私ノ見方ガ惡イノカモ知レマセヌガ……

○菅原通敬君 ドウモハッキリシタコトハシテ置キマス、ソレカラ参考書ヲ引當テニシテ御尋ネショウト思ヒマス、又政府ノ御考ニナツテ居ルコトト私ノ考ヘテ居ルコトガ別デアレバ更ニ又御尋ネシナケレバナラヌト思ヒマスガ、「同居ノ戸主又ハ家族中ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬アル者ノ租稅ニ付之ヲ準用ス」ト云フ第四條ガアリマス、是ハ從軍シタル軍人及軍屬ト同居シテ居ル戸主若シクハ家族ハ租稅減免ニ付テノ準用ヲ受ケルト云フ恩典ニ浴スル譯デアリマス、處ガ此ノ参考書ノ方ニハ業務ニ從事スル同居ノ戸主若シクハ家族ニ限ツテ其ノ恩

タル者ニ對シテハ此ノ第一條ニ依ツテ減損更訂ノ範圍ヲ擴張シテ行カエ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、ソレカラ第一條モ第二條モ要スルニ輕減免除ニ外ナラナイノデアルガ、通俗ノ意味ニ於テハ全ク仰シヤル通りデアリマスガ、此ノ條文ヲ書キ分ケマシタノ書キ方デ宜シイ、單ニ十三年一度以降ノ分ノ此ノ以降ト云フノガ少シ曖昧デアルガ、ニ付テハ第二條ヲ適用シ十二年一度以降ノ分ニ此ノ以降ト云フノガ少シ曖昧デアルガ、サウナレバ十二年度分デ宜イ譯デアル、十二年分ノモノニ付テハ輕減又ハ免除トスノ解説ト致シマシテ、一旦課稅標準ヲ決定シタ後ニ於テハ、減損更訂ノ規定ニ當嵌ルト云モノハ煩ハシクテ、却テ混雜スル嫌ヒガアル、ソコモ私ノ見方ガ惡イノカモ知レマセヌガ……

○菅原通敬君 ドウモハッキリシタコトハシテ置キマス、ソレカラ参考書ヲ引當テニシテ御尋ネショウト思ヒマス、又政府ノ御考ニナツテ居ルコトト私ノ考ヘテ居ルコトガ別デアレバ更ニ又御尋ネシナケレバナラヌト思ヒマスガ、「同居ノ戸主又ハ家族中ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬アル者ノ租稅ニ付之ヲ準用ス」ト云フ第四條ガアリマス、是ハ從軍シタル軍人及軍屬ト同居シテ居ル戸主若シクハ家族ハ租稅減免ニ付テノ準用ヲ受ケルト云フ恩典ニ浴スル譯デアリマス、處ガ此ノ参考書ノ方ニハ業務ニ從事スル同居ノ戸主若シクハ家族ニ限ツテ其ノ恩

ナツテ居ル、此ノ業務ニ從事スル同居ノ戸主若シクハ家族ニ書キ分ケラレタノハドウ云フ御趣意ナンデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 先キニ法律ノ方カラ御説明申上ゲマス、此ノ第四條ハ同居ノ戸主又ハ家族中ニ支那事變ノ爲從軍シタル者ガアル場合ニハ、課稅ヲ減免スルト云フノデアリマスガ總テノ場合減免スルノデナクシテ、命令ノ定ムル範圍内ニ於テ減免スルト云フノデアリマシテ、其ノ命令ノ中ニ今ノ業務ニ從事スルト云フ事項ヲ制限的ニ規定シヨウト思ッテ居ルノデアリマス、ナゼサウ云フ業務ニ從事スルト云フ制限規定ヲ設ケマスカト云フト、抑々此ノ度ノ減免ノ趣旨ハ、從軍シタ爲ニ其ノ年ノ所得、或ハ収益ガ減ジタ者ニ對シテハ、ソレダケ負擔力ガナクナツテ居ルカラ輕減シテヤラウ、斯ウ云フ趣旨ナンデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ業務ニ從事シテ居ナイ、例ヘバ自作農ノ家族ノ者、或ハ東京近郊ノ田舎デ自作農ヲシテ居ル者ノ家族ガ東京ニ通ツテ何カヤツテ居タ、此ノ者ガ召集ヲ受ケテ出征シタト云フヤウナ場合ニハ、此ノ自作農ノ所得、収益其ノモノニ付テ直接ノ減收ヲ來スト云フコトガナインデゴザイマスカラ、サウ云フ場合ニハ減免ノ必要ガナイ、直接ニ其ノ

所得、収益ヲ生ムコトニ關係シテ居ル者ノアル場合ニ減免シヨウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○菅原通敬君 今ノ後段ノコトハ能ク分リマシタガ、前段ニ御説明ニナツタコトハ少シ分リ兼ネル、業務ニ從事スルト云フノハノ命令ノ定ムル所ニ依リ云々トアルカラ、其ノ命令ニ依ツテソレヲ制限スル、斯ウ云フ御説明デアリマスガ、ソレハ少シ不穩當チャナイカト思ヒマス、此ノ第四條ニハ前三條ノ規定ハ同居ノ戸主又ハ家族ニ之ヲ準用ス、斯ウアル、此ノ資格ヲ定メルニ付テハ、命令ハ制限ガ出來ナイ、減免ノ方法ハ命令ノ方法ニ依ツテ定メル、併シナガラ同居ノ戸主又ハ家族ガ準用ヲ受ケルト云フコトハ絶對ニナインデアル、減免ノ方法ハ命令ノ定ムル所ニ依ルコトガ出來ルガ、前三條ノ規定ヲ準用スルト云フコトハ、其ノ資格ヲ定ムルコトニ付テハ他ニ制限ガナイ、ソレダカラ命令ニ依ツテソレヲヤルコトハ少リ輕減又ハ免除スルコトヲ得」ト云フノハノ第一條ノ方ニ於テ「命令ノ定ムル所ニ依ルノデゴザイマシテ、尙地方局長カラ地方長官ニ宛テマシテ通牒ガ出テ居リマス、此ノ度ノ事變ノ爲ニ從軍シタ者ノ家族ガ生活困難ニ陥ツテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、出來ルダケ地稅ノ輕減又ハ免除ヲスルヤウニ十分考慮スルヤウニト云フ意味ノ通牒ガ出テ居リマシテ、ソレガ實行サレテ居ルト思ヒマスガ此ノ事變ニ依ツテ從軍シタガ爲ニ所得収益ガ減ル場合ニ減免シヨウト云フコトデゴザイマシテ、從ツテ同居ノ戸主又ハ家族ノ中イマセヌカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ第四條ノ「同居ノ戸主又ハ家族中ニ云々ト云フノハ、何等命令デソレヲ制限スル譯ニ行カヌデゴザイマシテ、尙地方局長カラ地方長官ニ宛テマシテ通牒ガ出テ居リマス、此ノ度ノ事變ノ爲ニ從軍シタ者ノ家族ガ生活困難ニ陥ツテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、出來ルダケ地稅ノ輕減又ハ免除ヲスルヤウニ十分考慮スルヤウニト云フ意味ノ通牒ガ出テ居リマシテ、ソレガ實行サレテ居ルト思ヒマスガ此ノ事變ニ依ツテ從軍シタガ爲ニ所得収益ガ減ル場合ニ減免シヨウト云フコトデゴザイマシテ、從ツテ同居ノ戸主又ハ家族ノ中イマセヌカ

○子爵大河内輝耕君 先程會社ノ第一類ト第二類ノ區別ガ出マシタノデスガ、若シ御考デアルト云フ御話デアツタガ、其ノ根據ハテモ、斯ウ云フコトニ關係ノナイ場合ニハ其ノサレルノデアルカラ、從ツテ附加稅モ自ラ減免セラレル結果ニナルノダ、斯ウ云フ御説ノ收益ガ減ルト云フコトハ起ツテ來ナイ

社ノ數ト資本金額トガ分リマセヌデスカ

○政府委員(關原忠三君) マダソコ迄調査

シテ居リマセヌ

○子爵大河内輝耕君 其ノ次ニ伺ヒタイン

ハ、先程支那事件終了後ノアレノ勅裁ノヤ

リ方ナンデスガ、事務的ノコトヲ伺ッテ恐縮

デスガ、實際ニ於テ非常ナ重大ナ問題ヲ起

シテ來ルト思ヒマス、ア、云フ勅裁ト云フ

モノハ今迄アツコトガナシ、法律モ何モノ

イノニア、云フコトヲヤラウト云フノハ變

ニ思フノデスガ、法制上ノ根據ハドウナル

ノデスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 先程申上ゲマシ

タヤウニ、臨時軍事費ノ勅裁ニ付キマシテ

モ別ニ根據ハアリマセヌデ、時々必要ニ

依ツテ勅裁ヲ仰イデ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレハ今ノ御話ノ臨

時軍事費ノハ例モアル、例モアルシ、是ハ

剩餘金支出ト大シタ變リガナイノデ、アノ

形式デ行ケバ行クト思フノデス、ドウモ事

變ヲ終了ト認メマスト云フノハ、ドウモ外

ニ親類ノヤウナモノモナシ、ドウ云フノカ

サツバリ見當ガ付キマセヌ、何カ既ニ似寄ッ

タモノデモアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 尚法制上ノ解釋

ニ付キマシテハ、法制定局長官ト能ク打合セ

マシテ後程申上ゲマス

○中村圓一郎君 簡單デスカラチョット伺

ヒタインデスガ、資本金二十萬ト云フノハ

甚ダ少イヤウニ考ヘマスガ、是ハドウ云フ

御考デナツテ居リマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ法案ノ目的

ヲ正確ニ達シマスル爲ニハ、少イ程宜シイ

ノデアリマス、同時ニ餘リ少イモノ迄ニ參

リマスルト、非常ニ件數モ上リマシテ、其

ノ邊ハ實際ハ最モ適當ナ所ガ宜シイト思フ

ノデアリマス、五十萬圓以上ニ致シマスルト、

ノデアリマス、五十萬圓以上ニ致シマスルト、

會社ノ新設等ノ件數ト致シマシテハ、餘

程少イノデアリマス、同時ニ五十萬圓以上

ノ資本金額ガ、會社ノ資本金額ノ大多數ヲ

占メテ居リマス、實質上目的ヲ達スル爲ニ

ハ餘程效果ガアリマシテ、所謂煩瑣ナ手數

ヲ省キマスル爲ニモソコハ兩方ノ意味合デ

宜シイト云フ所ハ、此ノ邊ニナルト思ヒマ

ス、ソコデ考ヲ定メマシタノデアリマス

○森平兵衛君 政府委員ノ理財局長ニチ

ヨット御伺ヒ致シタイガ、前刻御朗讀ニナ

ルト思ヒマスノデ、矢張リ第三種ノモノガア

ルト御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラモウ一ツ

カ云フヤウナモノハ除外サレマスルカ、或

所謂差控ヘシメルト云フコトニナルノデアリマスカ、之ヲ一點ト、モウ一點ハ紡績機

械器具製造業、續イテ食料品製造加工用機

械器具製造業、斯ウ云フノガアリマスガ、

是ハ罐詰ノ輸出ト云フモノハ相當年額、私

等ノ聞ク所ニ依リマスト、一億圓位アルヤ

ウナ譯デアリマスガ、サウ云フヤウナ輸出

ガ相當行ツテ、原料モ内地デ出來ルヤウナ

モノニ對シテモ矢張リ制限ヲナサル、斯ウ

モノニ對シテモ矢張リ制限ヲナサル、斯ウ

云フコトニ解釋シテ宜シイノデアリマスカ、

此ノ二點ヲ御伺ヒ申上ゲマス

午後零時三十八分休憩

○政府委員(關原忠三君) 御質問ノ第一點

ノ鐵力板ノ製造ハ、此ノ中カラ除イテアリ

マス積デアリマス、ソレカラ罐詰ノ製造業

ニ付キマシテハ、第一第一ノドチラニモ

入ツテ居リマセヌノデ、此ノ案ト致シマシ

テハ第三類ニ屬シテ居ルノデアリマス、今

後ノ研究ニ依リマシテドチラカニ入ルコト

トナルト思ヒマス

○森平兵衛君 私ハ罐詰ト云フコトヲ申上

ゲタノデアリマシタガ、紡績機械器具製造

業ノ次ニ、食料品製造加工用機械器具ノ製

造、詰リ罐詰ヲヤリマスニハ、機械器具ノ

製造ガアルノデアリマス、罐詰ヲ持ヘル機

○政府委員(關原忠三君) 言葉ガ足リマセヌデシタガ、只今ノ所ハ第三類ノ方ニナツテ居リマスガ、何レ第一類ニ入リマスカ、

第二類ニ入リマスカ、研究ノ上致シタイト

思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) マダ御質問ガ

アリマスレバ午後引續イテ繼續致シマス、

午後ハ一時半カラ開會致シマス、休憩致シ

マス

○政府委員(關原忠三君) 御質問ノ第一點

ノ鐵力板ノ製造ハ、此ノ中カラ除イテアリ

ニ引續キ會議ヲ開會致シマス、質疑ヲ繼續

致シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前

ニ引續キ會議ヲ開會致シマス、質疑ヲ繼續

致シマス

○政府委員(太田正孝君) 先程大河内子爵

ノ御質問ニ對シマシテ業態別ノ御話ヲ申上

ゲタ時ニ、世ノ中ノ事業ヲキッパリ二ツニ分

ケルト云フヤウニ申上ゲタカモ知レナイト

思ヒマスガ、速記録ヲ見ナケレバハツキ

リ分リマセヌガ、言ッタカト思ヒマスガ、當

然ドツチニモ分カラナイモノガ相當アルカ

ト思ヒマスノデ、矢張リ第三種ノモノガア

ルト御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラモウ一ツ

カ云フヤウナモノハ除外サレマスルカ、或

マスカ、之ヲ御聽キシタイノデアリマス

シヤリシテ居ツテ、後テ主税局長ノ申上ゲタ

コトデ御諒解ニナツタコトト思ヒマスガ、内務省ト交渉ノ結果更ニモウ一度繰返シテ申上ゲタイト思ヒマス、地方團體ニ關シ、國稅ニ對スルト同様ニ此ノ際一般的ニ減稅ヲ爲サシムルコトハ、地方團體ノ財政力ハ國家ノソレニ比シテ著シク薄弱デアリマス、且種々特別ナ事情ノ存スルモノモアリマスノデ、畫一的ニ之ヲ協定スルコトハ時宜ニ適シナイモノガ存スルノデアリマス、而シテ地方團體ニ於テ今回ノ如キ場合ニ際シマシテ、當該出征者及ビ其ノ家族ニ對シテ地方稅ノ減免ヲ爲サムト致シマスニ付キマシテハ、現行地方稅制ノ運用ニ依リマシテ、善處シ得ルヤウ其ノ途ガ認メラレテ居リマスノデ、各地方團體ヲシテ自治的ニ其ノ特殊事情ヲ考慮シテ適當な措置ヲ講ゼシムルコトガ望マシイノデアリマス、尤モ今回ノ事變ニ伴ヒ出征シタル者ノ家族ニシテ生活困難ヲ來シタル者ニ對スル地方稅等ノ減免ニ關シマシテハ、既ニ地方局長ヨリ地方長官ニ通牒ヲ發シ、各地方團體毎ニソレトノ事情ニ應ジ適切ナル措置ヲ爲サシムルコト致シマシタ、通牒ハ八月四日附デ出テ居リマス、ソレダケ申上げて置キマス。

○野村德七君

資金調整法案ノ第四條第二項ニ付テ御尋ネ致シタイノデアリマス「事

コトデ御諒解ニナツタコトト思ヒマスガ、内

務省ト交渉ノ結果更ニモウ一度繰返シテ申上ゲタイト思ヒマス、地方團體ニ關シ、國

稅ニ對スルト同様ニ此ノ際一般的ニ減稅ヲ

爲サシムルコトハ、地方團體ノ財政力ハ國

家ノソレニ比シテ著シク薄弱デアリマス

シ、且種々特別ナ事情ノ存スルモノモアリ

マスノデ、畫一的ニ之ヲ協定スルコトハ時

宜ニ適シナイモノガ存スルノデアリマス、

而シテ地方團體ニ於テ今回ノ如キ場合ニ際

シマシテ、當該出征者及ビ其ノ家族ニ對シテ

地方稅ノ減免ヲ爲サムト致シマスニ付キマ

シテハ、現行地方稅制ノ運用ニ依リマシテ、

善處シ得ルヤウ其ノ途ガ認メラレテ居リマ

スルノデ、各地方團體ヲシテ自治的ニ其ノ

特殊事情ヲ考慮シテ適當な措置ヲ講ゼシムル

コトガ望マシイノデアリマス、尤モ今回ノ

事變ニ伴ヒ出征シタル者ノ家族ニシテ生活

困難ヲ來シタル者ニ對スル地方稅等ノ減免

ニ關シマシテハ、既ニ地方局長ヨリ地方長

官ニ通牒ヲ發シ、各地方團體毎ニソレト

ノ事情ニ應ジ適切ナル措置ヲ爲サシムルコト致シマシタ、通牒ハ八月四日附デ出テ居リマス、ソレダケ申上げて置キマス。

○野村德七君

資金調整法案ノ第四條第二項ニ付テ御尋ネ致シタイノデアリマス「事

業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスルトキ」ト斯ウアルノデアリマスガ、會社ガ

營業利益金ヲ以チマシテ、修繕償却等ノ名目ニ依リマシテ、能力ノ改良ヲ圖ル爲ニ多

額ノ支出等ヲスル場合ガアルノデアリマ

ス、現ニ隨分大會社ニハ殆ド例外ナシニア

ルノデアリマス、斯ウ云フモノニ對シテド

ウ云フ風ニ見テ宜インデアリマスカ、ソレ

カラモウ一つ資金統制ノ側カラ申シマスレ

バ、所謂此ノ命令ノ定ムル限度ハ十萬圓ノ

ヤウデアリマスガ、サウ云フ限度ヲ御設ケ

ニナツテ居リマシタ場合ニ、物資ノ節約ノ側

カラ見レバ、十萬圓デヘ到底設備ノ改良ガ

出來ヌ事業モアリマスケレドモ、又事業ノ性質ニ依リマスレバ改良擴張ガ十萬圓以内

デ十分出來テ、所謂不急作業ガ膨脹シ得ル

餘地ガ、此ノ十萬圓ト限定サレタ場合ニ、

性質ニ依リマスレバ改良擴張ガ十萬圓以内

デ十分出來テ、所謂不急作業ガ膨脹シ得ル

餘地ガ、此ノ十萬圓ト限定サレタ場合ニ、

性質ニ依リマスレバ改良擴張ガ十萬圓以内

デ十分出來テ、所謂不急作業ガ膨脹シ得ル

餘地ガ、此ノ十萬圓ト限定サレタ場合ニ、

性質ニ依リマスレバ改良擴張ガ十萬圓以内

デ十分出來テ、所謂不急作業ガ膨脹シ得ル

ヒマス

○政府委員(關原忠三君) 御質問ノ第一點、會社ガ修繕若シクハ償却名義ヲ以チマ

シテ色々ノ設備ノ補充ヲ致スヤウナ場合ニ於キマシテハ、觀念ト致シマシテハ此ノ法

律ノ支配シテ居ル所デハナイノデゴザイマス、併シ御承知ノヤウニ事業ノ新設ニ付キ

マシテハ餘リ問題ハゴザイマセヌガ、擴張又ハ改良ニ付キマシテ、一つノ設備ノ爲ニスル支出ガ擴張ニ屬スルカ改良ニ屬スル

カ、乃至只今ノ御話ノ如ク修繕等ニ屬シマスカ、觀念ノ曖昧ノモノガ存スルノデゴザ

又ハ改良ノ部類ニ屬シマスモノニ付キマシテハ改良ノ部類ニ屬シマスモノニ付キマシ

テ此ノ法律ノ適用ガアルノデアリマシテ、修繕等ニ付キマシテハ適用ガナインデアリ

マスガ、實際ノ問題ト致シマシテハ、場合ニ依リマシテハ、當該會社カラ御相談ヲ受

ケテ、ソレハドウ云フコトデアリマセウ、或ハ擴張ニ入リマセウ、或ハ修繕デ宜シウ

ゴザイマセウト申上ゲル機會モ相當アルン

二ノ御質問ハ御尤モデゴザイマスガ、先程

ノモテ個人ノ事業ヲ新設擴張又ハ改良シヨウ

トル場合ニハ、此ノ法律以外自由ノ立場

ニ置カレテ居ルト解釋シテ宜インデアリ

モノ説明ガゴザイマシタヤウニ、此ノ法律ノ

目的カラ申シマスレバ全部ニ付キマシテ致

シマスノガ宜シイノデゴザイマスケレド

モ、徒ニ手數ガ複雑ニナツテ、而モソレ程ノ效果ガナイト云フコトハ是ハ避ケナケレ

バナラナイノデアリマシテ、只今ノ所デハ第二條ノ金融機關ガ資金ノ貸付ヲ爲シマス

場合ニ於キマシテモ、大體十萬圓見當ツ

テ境トシテハドウカト云フ風ニマア考ヘテ居ルノデアリマス、ソレト丁度歩調ヲ同ジウ致シマシテ第四條ノ第二項ノ第二號ノ命

令ノ定ムル限度ト云フモヲ、其ノ程度ニ

限界ヲ決メルコトニナルグラウト只今ノ所

レカラ第三ノ御質問ノ個人ノ自己資金ヲ以テヤリマス分ニ付キマシテハ、御説ノ如ク

全然此ノ法律ノ支配外デゴザイマシテ、而シテ只今此ノ法律ヲ制定セシムトスル現在

ノ事情ニ於キマシテハ、御提案申上ゲタヤシテ

テヤリマス分ニ付キマシテハ、御説ノ如ク

マシタ次第アリマス

○野村德七君 第七條デアリマスガ、是ハ

金資金特別會計法ヲ改正サルベキモノノヤ

ウナ感ジガ致スノデアリマスガ、大體此ノ

調整法案ト云フモノハ色々ナモノガ寄セテ

アリマスノデ、便宜上茲ニ御寄セニナツタ

モノデアリマスカ

○政府委員(關原忠三君) 御承知ノヤウニ、

金資金ハ金ニ運用スルコトヲ本體ト致シマ

シテ、餘裕ガアリマス場合ニ於キマシテ

ハ、國債ニ運用スルノ途ダケガ開カレテ居

リマスガ、此ノ度之ヲ興業債券ニマデ運用

スルコトガ出來ルト云フ規定ヲ設ケタノガ

七條デアリマス、只今御質問ノ點ハ、本法

ガ、事變終了ヲ境ト致シマシテ大體廢止シ

タイト云フ意圖ノ下ニ制定セラレマスノ

デ、第七條ノ内容モ矢張リ本法ノ適用ノア

ル間興業債券ニ運用スルト云フ臨時的ノ一

ツノ考デゴザイマス、從ヒマシテ事變終了

後一年以内ニ之ヲ廢止致シマスル法律ヲ御

協賛ヲ得ル場合ニ於キマシテ、恐ラク第七

條ヲ廢止セラレマスト共ニ、今運用サレテ

居ルモノハ其ノ際ニ於テ依然運用ヲ續ケテ

宜イト云フヤウナ規定ガ設ケラレナケレバ

今後運用スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコ

トニナルコトデアルト考ヘテ居リマス

○野村德七君 第八條、第九條ニアリマス

時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ガ、斯ウ云フ

特別ノ増資ト社債ノ發行ヲ認メラレルノデ

アリマスガ、是等ノ仕事ハ軍需工業動員法

ガ適用セラレルモノデアリト大體ノ觀念ヲ

置イテ宜イノデアリマスカ

○政府委員(關原忠三君) 第八條、第九條
ニ規定シテ居リマス「命令ノ定ムル時局ニ

緊要ナル事業」ト申シマスノハ、先程第二

條、第四條等ノ爲ニ、如何ナル事業ガ資金

ヲ融通スベキ事業ニ屬スルヤ否ヤト云フ、

其ノ事業ノ選別ニ依シテ定マリマス、先程

申シマシタ第一類ノ事業ヨリモ多少狭クナ

ス、但シ御質問ノ軍需工業動員法ニ於テ支

配ヲ受クル事業ト同ジデアルカト云フ點ニ

付キマシテハ、本法ノ目的ニ適フヤウニ此

ノ事業ガ選別サレルノデアリマシテ、必ズ

シモ同一デハナイト考ヘマス

○野村德七君 第二條ニ戻リマスガ、證券

會社中其ノ業務ノ中ニ、自己資本又ハ借

入金ヲ以チマシテ手形ノ賣買ヲヤッテ居ル

モノガ事實アリマス、又自己資本又ハ借入

金ニ依リマシテ社債ノ前貸ヲヤッテ居ルモ

ノノアルノモ事實デアリマス、是等ハ其ノ

業務ノ一部ニ金融業ト認ムベキ業務ヲヤッ

テ居ルノデアリマスガ、政府ハ此ノ證券會

社ノ業務ノ一部ヲ金融機關ト御認メニナリ

マスカドウデスカ

○政府委員(關原忠三君) 御話ノヤウナ點

ガ多少アリマスコトハ私共モ承知シテ居リ

マスガ、本法ニ於キマシテハ、金融機關ト

シテ此ノ貸付ニ付テ調整ヲ致シタイト考ヘ

テ居リマスノハ、此所ニ掲ゲテアリマス銀

行、信託會社等デアリマシテ證券業者ハ含

マナイノデアリマス

○野村德七君 外國爲替管理法中改正法律

案ニ付テ御尋ネシタイゾデアリマス、外國

デ仕事ヲシテ居リマスル場合ニ、其ノ資產

ノ迄許可ヲ要スルト云フコトニナリマスト

甚ダ煩瑣ニ堪ヘナイト考ヘルノデアリマス

ガ、又サウ云フコトデアリマスト實際上ノ

取引ヲ非常ニ阻碍スルト考ヘラレルノデア

リマス、是ニモ委員會等ニ依リマシテ相當

ナ限度ヲ設ケラレル、又其ノ事業ニ依リマ

シテハ包括的許可ヲ御認メニナルト云フヤ

ウナ事ニデモナルノデアリマスカ、當局ノ

御方針ヲ伺ヒタインデアリマス

○政府委員(上山英三君) 只今ノ御質問ハ

御尤モト存ジマス、省令ニ規定スル際ニ

ス、尙極ク少額ノ金額ニ付テ一々許可申

請……許可ヲ要スルノハ煩雜ト思ヒマシテ

相當金額ヲ置ク積リデアリマスガ、此ノ點

ニ付キマシテ拓務省ガ非常ニ關係ガ深イノ

デアリマス、拓務省、内務省ト能ク其ノコ

ス、法律的ニ見テ、矢張リ第三者ノ立場カ

ラ見テ政府ニ於テ保證サレルト、斯ウ云フ

メ、且爲營理委員會ニ掛ケテ決定スル積

リデアリマス

○野村德七君 私ノ質問ハ終了致シマス

○森平兵衛君 資金調整法ノ第六條ノ日本

興業銀行ノ五億圓ノ債券ニ付キマシテハ、

政府ガ此ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證

シテ居ルノデアリマス、此ノ次ノ十三條ノ

勸業銀行ヲシテ發行セシムル二億圓ノ貯蓄

債券ニ付キマシテモ、同様矢張リ此ノ元利

共支拂ノコトハ政府ニ於テ保證ナサル積リ

ナンデアリマスカ

○政府委員(廣瀬豐作君) 勸業銀行カラ發

行政シマス貯蓄債券ノ收入金ハ政府預金部

ヘ預入サセルコトニ規定シテアルノデアリ

マス、預金部ヘ預入サセマシタ上デ預金部

デ運用スルコトニナル譯デアリマス、即チ

政府デ預ルノデアリマスカラシテ、政府ガ

即チ最高ノ信用ヲ持ツテ居ル譯デアリマス

カラ、本證券ノ償還ニ付テハ不安ガナク、

別ニ興業債券ノヤウニ元利保證ヲ附スル必

要ハナイ譯ト存ジマシテ、別段サウ云フ規

定ハ設ケマセナカッタ次第デアリマス

○森平兵衛君 只今御説明ニ依リマスト、

政府預金部ニ預入スルト云フコトデアリマ

ス、法律的ニ見テ、矢張リ第三者ノ立場カ

ラ見テ政府ニ於テ保證サレルト、斯ウ云フ

メ、且爲營理委員會ニ掛ケテ決定スル積

リデアリマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 預金部ニ預入ス

ベシト云フ規定ニ依ッテ、政府ノ元利保證ト同様ノ保證力ト申シマスカ、信用力ガアルト解釋シテ宜シイト存ジテ居ル次第デアリマス

○森平兵衛君 此ノ資金調整法ノ、何ト申シマスカ、未定稿ノ發表ガ丁度八月二十八、

九日頃ニ全國各地ノ新聞紙ニ現レタノデアリマス、其ノ爲デアリマスカ、矢張リ事變ノ影響ヲ受ケテデアリマスカ、全國的ニ金融ハ梗塞シテ居ルノデアリマス、殊ニ此ノ支那事變ニ直接ニ最モ關係ノ深イ京阪神地方アタリハ輸出ハ杜絶スル、殊ニ支那行ノ輸出バカリデアリマセヌ、南洋或ヘ印度、南米、「アフリカ」アタリノ輸出マデ事實上矢張リ疏通ヲ缺イテ居ルノデアリマス、是ハ船繩ノ關係上已ムラ得ナイコトデアリマスガ、サウ云フ風ニ荷動キガ出來ヌ爲ニ爲替資金ヲ生ム譯ニ行カナイ、又一方倉庫會社ヲ調べテ見マスト、相當其ノ倉庫モ充實シ「ベース」ガナイト云フコトデ、大工業ハ勿論中小ノ輸出業者、工業者ニ至ッテモ金融ノ梗塞ヲシテ居ルコトハ事實デアリマス、政府ニ於テハ之ニ付テ相當ノ方法ヲ講ジ、又各地方廳ニ於キマシテモ中小ノ商工業者ニ對シテハ損失補償迄シテ資金ノ疏通ラシ

居ラレルノデアリマスガ、最近承ル所ニ

依リマスト幾ラカ緩和ヲシテ居ルカノ如クニモ見受ケルノデアリマス、全體トシテハ

ナカノ十分ナ緩和ト云フ程度迄行ツテ居ラヌ、其ノ爲ニ證券界ニ非常ナ影響ヲ持チマシテ、三、四日前、土曜日迄ハ、殆ド賣手バカリデ買手ガナイト云フヤウナ有

様デ益、不安ノ狀態ニアルノデアリマス、ソレデ政府ニ於テモ既ニ此ノ爲ニ相當ノ方法ヲ講ジ、又此ノ法律ガ通リマスレバ五億圓ノ興業債券ヲ發行シ、又發行餘力ノアリマシタニ億五千萬圓モ既ニ金資金特別會計ニ依ッテ御引受ニナリ、資金ノ疏通ノ途ハ講ジテ居ラレルノデアリマスガ、ドウモ未だ下々ノ所ニハ流レテ出ナイノデアリマス、

大藏省ニ於キマシテハモウ少シク徹底的ニスウ云フ方ラ緩和ナサル何カ方法ガナイモノデアラウカ、御尋ヲ致シタイト思ヒマス又只今御示シニナリマシタ通リ大變ニ遺憾ノコトト存ジマス、何ニ致セ斯ウ云フ事變ノ起リマス時ニ於キマシテハ、ドウシテモノ梗塞ヲシテ居ルコトハ事實デアリマス、

結果ガ色々ニ表レルト思ヒマス、御示シニナリマシタ……斯ウ云フ法案ヲ作ルト云フ聲モ、矢張リ御指摘ニナリマシタヤウニ

相當サウ云フ方面ニモ効キカケタヤウニ存ジマス、斯ウ云フ問題ニ付キマシテ、色々ナカノミ沒頭シテ居ル地方モアル

トカ、或ハ金融機關ニ對シマシテモサウ云ド賣手バカリデ買手ガナイト云フヤウナ有

ナルコトモ豫見致シマシテ、公債一億圓ヲ出スヤウニ致シマシタナド、ソレノ手當ヲシテ居ラレル次第ゴザイマシテ、段々時局ノ認識モ深マリ、且人ノ心モ落付キマスト共ニ併セテ金融機關ノ方ノ効キカケト相俟チマシテ、段々斯ウ云フ狀況ガ打開サレ十分力ヲ盡シテ居ル次第ゴザイマス

○森平兵衛君 尚私ハ希望ヲ述べテ置キタ

ノトコト思フノデアリマスガ、大藏當局竝ニ日本銀行總裁ニ於キマシテモ、此ノ事ニ付キマシテハ十分留意セラレテ、或ヘ金融評議委員會ヲ開イテソレノ適當ナ方策ヲ講ゼ

小ノ商工業者、或ハ又滯貸ヲ來シテ居リマス所ノ輸出業者ニ對シテ滑カニ金融ノ疏通スルコトニ一ツ御努メラ願ヒタイ、萬ガ一、我々ハサウ云フコトハ思ウテ居ラヌノデアリマシテ、此ノ大銀行ヲ通ジテ地方ノ中小商工業者、或ハ又滯貸ヲ來シテ居リマスガ、民心ノ動キニ依リマスレバ恐ルベキ結果ヲ來スマイトモ限ラヌノデアリマスカラ、十分此ノ際ハ御注意ヲ願シテ之ニ對ルス對策ヲ十分、一ツ御指導ト疏通ノ方法ヲ講ゼラレムコトヲ切ニ希望スル次第アリマス、ソレデ尙續イテ御質問ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、先刻モ私ハ此ノ統計ノ上ニ

於テ見テ居ルノデアリマスルガ、今回ハ此

貸付ケタモノ迄モ相當請求スル、新シクハ

ナカノコトニノミ没頭シテ居ル地方モアルヤウナコトニノミ没頭シテ居ル地方モアルノデアリマス、斯ウ云フコトニナリマスト

失業者モ生ジ、恐ルベキ結果ヲ生ジナイトモ限ラヌノデアリマスカラ、大藏省ニ於キマシテモ斯ウ云フ時局ニ鑑ミラレマシテ、月ニ一回デアリマシタカ、此ノ金融評議委員會ガアルトカ云フコトデアリマスガ、ドウカスウ云フ際ニハ特ニ臨時會デモ御設

ケニナッテ、其ノ時ニハ大藏當局モ御出席ニナリマシテ、此ノ大銀行ヲ通ジテ地方ノ中

小ノ商工業者、或ハ又滯貸ヲ來シテ居リマス所ノ輸出業者ニ對シテ滑カニ金融ノ疏通スルコトニ一ツ御努メラ願ヒタイ、萬ガ一、我々ハサウ云フコトハ思ウテ居ラヌノデアリマスガ、民心ノ動キニ依リマスレバ恐ルベキ結果ヲ來スマイトモ限ラヌノデアリマスカラ、十分此ノ際ハ御注意ヲ願シテ之ニ對ルス對策ヲ十分、一ツ御指導ト疏通ノ方法ヲ講ゼラレムコトヲ切ニ希望スル次第アリマス、ソレデ尙續イテ御質問ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、先刻モ私ハ此ノ統計ノ上ニ

限ッテ云フコトデ、先刻理財局長カラモ所謂第一種、第二種ノ統制スルモノ、或ハ新設ヲ差控ヘサスモノトノ事業ノ参考案ヲ

承ツタノデアリマスガ、此ノ表ニモアリマスル通り、一面國際收支ノ均衡ヲ得ル爲ニハドウシテモ輸出ニ力ヲ入レヌケレバナラヌ、輸出ニ力ヲ入レヌケレバナラヌノデ、所謂輸出品ノ第一項ニアリマスル所ノ綿織物ト云フヤウナモノガ、矢張リ新設ヲ差控ヘサス方ノ部類ニ入ッテ居ル、所謂紡績業若シクハ人絹業ト云フモノハ新設ガ出來ナイ

ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、サウ云フコトデ、若シモ輸出ガ相當増シタ場合ニハ、其ノ時分ニハ此ノ評議委員會ニ掛ケテ特例ヲ設ケルト云フ、斯ウ云フ意思デ斯ウ云フモノヲ差控ヘセシムル方ニ御廻シニオツタノデアリマスカ、斯ウ云フ點ニ付テ御意見ヲ承リタイ

○政府委員(太田正孝君) 編織物業ノ關係ハ、輸出ニ於キマシテハ我ガ國ノ重要ナル事業ニナツテ居リマス、併シ一面ニ於キマシテ消費ノ關係カラ見マスト、國內ノ需要品デアリマスコトモ深ク考ヘナケレバナラヌメデアリマシテ、輸出ヲ控ヘサス爲ニサウ云フ方面ニ入レタノデハナダ、今申上ゲマシタ内地ノ消費ノ關係ヲ考ヘマシテ、且現

在ニ於ケル事業ノ状態ヲ考ヘマシテ一應ノ案トシテ斯クノ如クシタ次第ゴザイマス

○森平兵衛君 只今政務次官ノ御答辨ニ依リマシテ、尙此ノ委員會ガアルノデアリマスカラ假ニ之ヲ一時御決定ニナリマシテモ、其ノ時ノ輸出ノ状況、或ハ財界ノ状況、或ハ事業ノ状況ニ依リマシテ常ニ委員會ヲ開イテ之ヲ變更スルコトガアルト、斯ウ云

フヤウニ承知シマシテ宜シウゴザイマスカコトガアリマスガ、是ハ當然外地ニモ御施行ニナルモノト存ズルノデアリマスガ、或ハ是等ノ施行期日ハ國內トハ幾ラカ相違ガアルモノト存ジマスガ、矢張リ外地ニ施行

○政府委員(太田正孝君) 其ノ通リゴザイマス

○野村德七君 チヨット私モウ少シ一回ダケ御尋ネ致シタイノデゴザイマス、先程證券會社ノコトヲ御尋シタノデゴザイマスガ、殆ド今日證券會社トシテ認メラレテ居ル證券會社ト言ヒマスカ、相當ナ資本ヲ有シテ居ル證券會社ハ、其ノ營業ノ一部ニ金融業

ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ法案ニ依リマスト金融機關ト云フ中ニハ包括サレテ居ナインデアリマスガ、政府ハ將來之ヲ金融機關トシテ御認メニナリマス御考ガアリマスカドウカ、御尋ネ致シタイ

○政府委員(太田正孝君) 御答ヘ致シマス

ス、將來之ヲ金融業者トシテ扱フカドウカナツタノデアリマズカ

○政府委員(關原忠三君) 只今私共ノ豫定ト云フコトニ付キマシテハ、マダ何等考ヘテ居リマセヌ

○森平兵衛君 調整法ノ第二十一條ニ「本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ施行」云々ト云フスカラ假ニ之ヲ一時御決定ニナリマシテモ、其ノ時ノ輸出ノ状況、或ハ財界ノ状況、或ハ事業ノ状況ニ依リマシテ常ニ委員會ヲ開イテ之ヲ變更スルコトガアルト、斯ウ云

フヤウニ承知シマシテ宜シウゴザイマスカコトガアリマスガ、是ハ當然外地ニモ御施行ニナルモノト存ズルノデアリマスガ、或

ハ是等ノ施行期日ハ國內トハ幾ラカ相違ガアルモノト存ジマスガ、矢張リ外地ニ施行

○政府委員(太田正孝君) 其ノ通リゴザイマス

○野村德七君 チヨット私モウ少シ一回ダケ御尋ネ致シタイノデゴザイマス、先程證券會社ノコトヲ御尋シタノデゴザイマスガ、殆ド今日證券會社トシテ認メラレテ居ル證券會社ト言ヒマスカ、相當ナ資本ヲ有シテ居ル證券會社ハ、其ノ營業ノ一部ニ金融業

鮮、臺灣、樺太等ニ施行スルコトニ致ス積リデアリマシテ、當該長官ニ於テ許可、認可スルコトニナツテ居リマス、但シ一定ノ金額以上ニ付キマシテハコチラト相談シテ協議ノ上ニ決定スルコトニ致シタイト思ヒマス

○森平兵衛君 附則ノ「本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」、是ハ先刻、調整法ノ中ニハ事業資金ノ調整モアレド、或ハ興業債券ノ發行モアル、貯蓄債券ノ發行モアルト云フヤウナコトデ大分混合シテ

○政府委員(太田正孝君) 本法ノ第十一條ダケヲ公布セラレル直後ニ施行致シマシテ、十一條ヲ除キマシタ後ノ條文ハ只今ノ所デハ同時ニ全部一括致シマシテ、十一條ノ委員會ニ於テ相當ノ案ガ出來マシタナラバ直チニ施行サレル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 私ノ質問ヲ終リマス

○菅原通敬君 是ハ商工省ノ方ニモ關係ヲ持タヒマスガ、序ニ大藏省ノ方ニモ關係ヲ持タ

シテ居リマスノハ、第十一條ノ臨時資金調整委員會ニ關スル規定ダケヲ本法公布直後ニ施行致シマシテ、其ノ委員會ノ成案ヲ得マシテ、直チニ後ノ條文全部ヲ同時ニ施行シタイト考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 ソレデハ此ノ十一條ノ委員會ガ勅令デ定シテ成立致シマシテカラ本法ヲ御施行ニナル、斯ウ云フ御考デアリマスカ

○森平兵衛君 ソレデハ此ノ十一條ノ委員會ガ勅令デ定シテ成立致シマシテカラ本法ヲ御施行ニナル、斯ウ云フ御考デアリマスカ

○森平兵衛君 ソレデハ此ノ十一條ノ委員會ガ勅令デ定シテ成立致シマシテカラ本法ヲ御施行ニナル、斯ウ云フ御考デアリマスカ

○森平兵衛君 ソレデハ此ノ十一條ノ委員會ガ勅令デ定シテ成立致シマシテカラ本法ヲ御施行ニナル、斯ウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(關原忠三君) 本法ノ第十一條ダケヲ公布セラレル直後ニ施行致シマシテ、十一條ヲ除キマシタ後ノ條文ハ只今ノ所デハ同時ニ全部一括致シマシテ、十一條ノ委員會ニ於テ相當ノ案ガ出來マシタナラバ直チニ施行サレル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 私ノ質問ヲ終リマス

○菅原通敬君 是ハ商工省ノ方ニモ關係ヲ持タヒマスガ、序ニ大藏省ノ方ニモ關係ヲ持タ

レル問題ト思フガ、新聞ノ記事ニ依リマスルト云フト綿絲或ハ綿織物ニ對シテ消費

統制料ナルモノヲ徵收シテ、而シテ其ノ資

金ヲ以テ綿絲若シクハ綿織物ノ輸出獎勵金ヲ以テ綿絲若シクハ綿織物ノ輸出獎勵金ヲ以テ當業者ニ示

シテ居リマスノハ、第十一條ノ臨時資金調整委員會ニ關スル規定ダケヲ本法公布直後ニ施行致シマシテ、其ノ委員會ノ成案ヲ得マシテ、直チニ後ノ條文全部ヲ同時ニ施行シタイト考ヘテ居リマス

○政府委員(關原忠三君) 只今私共ノ豫定ト云フコトニ付キマシテハ、マダ何等考ヘテ居リマセヌ

○森平兵衛君 調整法ノ第二十一條ニ「本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ施行」云々ト云フスカラ假ニ之ヲ一時御決定ニナリマシテモ、其ノ時ノ輸出ノ状況、或ハ財界ノ状況、或ハ事業ノ状況ニ依リマシテ常ニ委員會ヲ開イテ之ヲ變更スルコトガアルト、斯ウ云

フヤウニ承知シマシテ宜シウゴザイマスカコトガアリマスガ、是ハ當然外地ニモ御施行ニナルモノト存ズルノデアリマスガ、或

ハ是等ノ施行期日ハ國內トハ幾ラカ相違ガアルモノト存ジマスガ、矢張リ外地ニ施行

○政府委員(太田正孝君) 其ノ通リゴザイマス

○野村德七君 チヨット私モウ少シ一回ダケ御尋ネ致シタイノデゴザイマス、先程證券會社ノコトヲ御尋シタノデゴザイマスガ、殆ド今日證券會社トシテ認メラレテ居ル證券會社ト言ヒマスカ、相當ナ資本ヲ有シテ居ル證券會社ハ、其ノ營業ノ一部ニ金融業

鮮、臺灣、樺太等ニ施行スルコトニ致ス積リデアリマシテ、當該長官ニ於テ許可、認可スルコトニナツテ居リマス、但シ一定ノ金額以上ニ付キマシテハコチラト相談シテ協議ノ上ニ決定スルコトニ致シタイト思ヒマス

○森平兵衛君 附則ノ「本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」、是ハ先刻、調整法ノ中ニハ事業資金ノ調整モアレド、或ハ興業債券ノ發行モアル、貯蓄債券ノ發行モアルト云フヤウナコトデ大分混合シテ

○政府委員(太田正孝君) 本法ノ第十一條ダケヲ公布セラレル直後ニ施行致シマシテ、十一條ヲ除キマシタ後ノ條文ハ只今ノ所デハ同時ニ全部一括致シマシテ、十一條ノ委員會ニ於テ相當ノ案ガ出來マシタナラバ直チニ施行サレル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 私ノ質問ヲ終リマス

○菅原通敬君 是ハ商工省ノ方ニモ關係ヲ持タヒマスガ、序ニ大藏省ノ方ニモ關係ヲ持タ

レル問題ト思フガ、新聞ノ記事ニ依リマスルト云フト綿絲或ハ綿織物ニ對シテ消費

統制料ナルモノヲ徵收シテ、而シテ其ノ資

金ヲ以テ綿絲若シクハ綿織物ノ輸出獎勵金ヲ以テ當業者ニ示

唆ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナ記事ガ見ヘル
ノデアリマス、是ハ取モ直サズ綿織物ニ對
スル消費税ノ重課ト云フヤウナモノニ相當
ノ關係モアルコト思フノデアリマスガ、
自然其ノ結果ハ綿絲若シクハ綿織物ニ對ス
ル物價ト云フモノヲ昂騰セシメルコトニナ
ルダラウト思ヒマス、一方ニ直接稅ニ付テ
ハ、從軍者其ノ他戸主家族ニ對シテ租稅ノ
減免ヲ圖シテ行クト云フ場合ニ、消費稅デア
リマスガ、寧口消費稅ト云フモノニ對シテ、
負擔ヲ加ヘルヤウナコトニナルト云フコト
ハ考ヘテ見ナケレバナラヌ問題ト思ヒマス
アリマスカ、又ソレニ對スル御考ガアレバ
承ッテ置キダイ

○政府委員(太田正孝君) 唯今御示シノ問
題ニ付キマシテ、商工省ノ政府委員ニモ確
カメタノデゴザイマスガ、マダハッキリシ
タ所マデ決シテ居リマセヌ、但シ當業者側デ
斯様ナモノヲ掛ケマシテ輸出振興ニ資シタ
イト云フ意向ノアルコトハ爲替關係等カラ
モ承知シテ居リマス、具體的ノ問題ハ、唯今
迄大藏省ニサウ云フ交渉ガマダアッタ譯デ
ハアリマセヌ、無論消費者ノ負擔ヲ此ノ時
局ニ際シテ増スト云フコトハ十分注意シナ

ケレバナラヌト思ヒマスカラ、問題ノアリ
マシタ時ニ、其ノコトヲ能ク考慮シタイト
スルコトニナルノデアルカラ、無論大藏省
ノ關係モアルコト思フノデアリマスガ、
自然其ノ結果ハ綿絲若シクハ綿織物ニ對ス
ル物價ト云フモノヲ昂騰セシメルコトニナ
ルダラウト思ヒマス、一方ニ直接稅ニ付テ
ハ、從軍者其ノ他戸主家族ニ對シテ租稅ノ
減免ヲ圖シテ行クト云フ場合ニ、消費稅デア
リマスガ、寧口消費稅ト云フモノニ對シテ、
負擔ヲ加ヘルヤウナコトニナルト云フコト
ハ考ヘテ見ナケレバナラヌ問題ト思ヒマス
アリマスカ、又ソレニ對スル御考ガアレバ
承ッテ置キダイ

○政府委員(太田正孝君) 唯今御示シノ問
題ニ付キマシテ、商工省ノ政府委員ニモ確
カメタノデゴザイマスガ、マダハッキリシ
タ所マデ決シテ居リマセヌ、但シ當業者側デ
斯様ナモノヲ掛ケマシテ輸出振興ニ資シタ
イト云フ意向ノアルコトハ爲替關係等カラ
モ承知シテ居リマス、具體的ノ問題ハ、唯今
迄大藏省ニサウ云フ交渉ガマダアッタ譯デ
ハアリマセヌ、無論消費者ノ負擔ヲ此ノ時
局ニ際シテ増スト云フコトハ十分注意シナ

考ヘマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御質問ハ
ゴザイマセヌカ

○子爵大河内輝耕君 先程森君カラノ御尋
デ質問ガ生ジテ來タノデスガ、此ノ第一
種第二種ヲ御讀ミ上げニナツタ時ニ、私ハ
「ホテル」ノ例ヲ引イテ國際收支ノ利益ニナ
ルヤウナモノハ、寧口止メルヤウナコトハシ
ナイト云フヤウニ解釋ラシタノデアリマス
ガ、今能ク聽イテ見ルト、サウデモナイヤ
ウデ、例ヘバ紡績ナドト云フモノハ、國內
消費ニモ必要ナノダカラ、サウ云フ點カラ
モ見ルノデ、寧口是ハ成ルベク止メテ貰ヒ
タイト云フヤウニ取レタノデスガ、ソコノ
スガ、輸出品デアル以上ハ御獎勵ニナッテ
置キタイト思ヒマス、此ノ支那事變ハ勅裁
ヲ受ケテ決ル、斯ウ云フ御答辯デゴザイマ
シタ、所ガサウ云フ勅裁ト云フモノハ今迄
例ハナシ、似通タモノモナシ、一向見當
ガ付カヌ、能ク伺シテ見ルト是ハ臨時軍事費
ヲ使フ時勅裁ヲ經テヤルガ、ソレハ法律ニ
根據ガナイト云フ御答辯アッタ、其ノ方ハ法
律ニハ根據ガアリマセヌガ、豫備金支出ト
カ、剩餘金支出デアルトカ、幾ラカ似通ツ
タモノモアル、殊ニ先例ガアル、是ハドウ
ナカッタカ知レマセヌガ、其ノ時私ノ申上
ガノ方ハドウモスウ云フ例モナシ、似通ツタ
モノモナシ、能ク分ラナイ、ドウ云フ根據

○子爵大河内輝耕君 先程私詳シク聽
キマセヌデシタガ、確カ勅裁ノ手續ハドウ
云フヤウニスルカト云フヤウナ御尋カト存
ジマシタガ……

○子爵大河内輝耕君 チヨット明カニシテ
置キタイト思ヒマス、此ノ支那事變ハ勅裁
ヲ受ケテ決ル、斯ウ云フ御答辯デゴザイマ
シタ、所ガサウ云フ勅裁ト云フモノハ今迄
イマス、恩給法ノ三十一條ノ三項デゴザイ
マシタカ、ソレデ戰爭ニ準ズベキ事變ト云
フモノ、其ノ期間トソレカラ戰爭ニ準ズベ
キ事變デアルカ否カト云フコトヲ勅裁ヲ以
テ定スルコトニ法律ノ明文デ以テ極メテ居
リマスノデ、今回ノモ丁度事變ノ末端ヲ認
定スルコトニ於キマシテハ、非常ニ能ク似
テ居リマスノデ、恐ラクハ其ノ形ヲ以テ勅
裁ヲ仰グコトニナルベキモノト考ヘテ居リ
マス、現在其ノ恩給ニ付テ勅裁ヲ經マスル
ニ付テハ恩給局ガ、是ハ陸海軍ト打合セラ
致シマスガ、原案ヲ作リマシテ、總理大臣
ニ上申致シマシテ、總理大臣ガ其ノ内容ヲ

主力ヲ置イテ居ルコトハ御存ジノ通リデア
リマス、現在ノ設備其ノ他ガ相當ノ程度ニ
達シテ居ルトカ、或ハ操業短縮ノ狀況ニア
ルトカ、色々ノ點ヲ考慮シテ決メタイ意味デ
アリマシテ、輸出ヲ防ゲルト云フ意味デ
アリマセヌ

○子爵大河内輝耕君 先程ノ法制局ノ勅裁
ヲ此ノ際伺ヒマス

○子爵大河内輝耕君 先程私詳シク聽
キマセヌデシタガ、確カ勅裁ノ手續ハドウ
云フヤウニスルカト云フヤウナ御尋カト存
ジマシタガ……

○政府委員(樺貝誼三君) 只今法律上ノ根
據ヲ持テ居リマス勅裁ヲ經テ事變ノ始期、
終期ヲ定メテ居リマスモノニ恩給法ガゴザ
テ居ツタノデアリマス

○政府委員(樺貝誼三君) 只今法律上ノ根
據ヲ持テ居リマス勅裁ヲ經テ事變ノ始期、
終期ヲ定メテ居リマスモノニ恩給法ガゴザ
テ居ツタノデアリマス

○政府委員(樺貝誼三君) 只今法律上ノ根
據ヲ持テ居リマス勅裁ヲ經テ事變ノ始期、
終期ヲ定メテ居リマスモノニ恩給法ガゴザ
テ居ツタノデアリマス

定メタ案ヲ具シマシテ、サウシテ上奏御裁可ヲ經マシテ、御裁可ガアリマスト其ノ上

奏シテ定メタ所ノモノヲ内閣告示トシテ官報ヲ以テ告示致シマスヤウニナッテ居リマス、從ツテ其ノ告示ニ現レマシタモノガ、ソレガ御裁可ヲ經タモノデアリマス、恐ラク今

回ノ事件ニ付キマシテモ、總理大臣カラ案ヲ具シマシテ、其ノ案ハ只今ソレヘ内定致シテ居ル譯ズハ無論アリマセヌケレドモ、恐ラクハ支那事件ハ何年何月何日ヲ以テ終了シタリト居フヤウナ案ヲ副ヘテ上奏シテ御裁可ヲ仰グコトニナラウト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 只今御説明モアツタノデアリマスガ、告示ハ、サウ致シマスト總理大臣ノ告示ニナリマスノデアリマスカ

○政府委員(権良詮三君) 御説ノ通リデゴザイマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ何カ御質問ハ終了致シタコト致シマシテ、直チニ討議ニ移リタイト思ヒマス、此際御意見ガゴザイマスナラバ、御陳述ヲ願ヒタイト思ヒマス

了ニ關スル件左ノ通勅裁ヲ經タリト云フコトデ、其ノ左ノ通ト云フノニハ支那事變終了シテ御裁可ヲ仰グコトニナラウト思ヒマス、ソレカラ總理大臣ノ告示モ支那事變終

了ニ關スル件左ノ通勅裁ヲ經タリト云フコトデ、其ノ左ノ通ト云フノニハ支那事變終了シテ御裁可ヲ仰グコトニナラウト思ヒマス、サウシマスト恩給法ノ解釋ト先づ略、同ジデアル、略、デハナイ、恩給法ノ解釋ト同ジト見テ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(権良詮三君) 非常ニ能ク似テ居リマスカラ、同ジヤウニ、御説ノ通リニ

行カウト思ツテ居リマス

公債ヲ發行シテ、國債ノ總額ハ既ニ百億ヲ

イデ北支事件特別稅トシテ一億圓、合計五

ノデアリマスガ、告示ハ、サウ致シマスト總理大臣ノ告示ニナリマスノデアリマスカ

○政府委員(権良詮三君) 御説ノ通リデゴザイマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ何カ御質

問ゴザイマセヌカ、御質問ガナケレバ、質問ハ終了致シタコト致シマシテ、直チニ討議ニ移リタイト思ヒマス、此際御意見ガゴザイマスナラバ、御陳述ヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 私ハ本委員會ニ付託サレマ

シタ各法案ニ對シテ贊成ノ意見ヲ述べタイト思フノデアリマス、北支事件ニ對スル國策及方針ガ確定致シマシタル以上、之ニ要ス

ル經費ハ其ノ金額ノ如何ニ拘ラズ、我ガ忠誠ナル國民ハ何物ヲモ超越致シマシテ、之タリト上奏シテ、御裁可ヲ仰イダモノヲ掲

ゲルヤウナコトニナルベキモノト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト恩給法ノ解釋ト先づ略、同ジデアル、略、デハナイ、恩給法ノ解釋ト同ジト見テ宜シイノデアリマスカ

ダト思フノデアリマス、殊ニ近年我ガ國ノ財政狀態ト云フモノガ、年々十億圓内外ノ

突破シテ居ルト云フヤウナ狀態ニアリマシテ、財政ノ基礎ガ鞏固ナリト言フコトガ出

未ダ稅制ノ整理ノ成ラザル儘ニ此ノ上幾許ノ増稅ヲ行フト云フヤウナコトヘ、更ニ一層ノ負擔ノ不均衡トナルノデアリマシテ、經濟上ニ大イナル惡影響ヲ及スコトト思フ

ノデアリマスカラ、此ノ場合軍事費ノ全部ヲ公債財源ニナスト云フコトヘ、誠ニ已ムヲ

ル公債ノ未ダ發行セラレザルモノガ、約十四億圓モ抱ヘテ居ル、尙茲ニ二十億圓ト云フモノヲ加ヘマスト云フコトニナリマシタ

ナラバ、モウ三十四億ト云フモノニ達スル

ノデアリマシテ、其ノ消化ニ付テモ大イニ懸念ガナケレバナラヌノデアリマス、ソレノデ公債ノ利子及減債基金ニ相當スル位ノ金額ハ增稅ニ依ル方ガ宜シイト云フ意見モ生

マスト云フコトヘ、是レ實ニ容易ノコトデハナイト思ヒマス、去リナガラ國民舉シテニ至ルマデ、マタ其ノ決定、解決ニ至ラザ

ルト云フコトハ誠ニ遺憾ニ思フ次第デアリマス、右申スヤウナ巨額ノ公債ヲ消化致シマスト云フコトヘ、是レ實ニ容易ノコトデハナイト思ヒマス、去リナガラ國民舉シテ

ズルデアラウト思フノデアリマス、又去リナガラ現下ノ我國ノ稅制ニ付テ翻ツテ考

ズルデアラウト思フノデアリマス、又去リナガラ現下ノ我國ノ稅制ニ付テ翻ツテ考

未ダソレノ解決ヲ見ルニ至ラナイ場合ニ、囊ニ既ニ租稅增徵ト致シマシテ四億圓、次

億圓ノ增稅ヲ行ヒマシタ後デアリマス故ニ、

ノ増稅ヲ行フト云フヤウナコトヘ、更ニ一層ノ負擔ノ不均衡トナルノデアリマシテ、經濟上ニ大イナル惡影響ヲ及スコトト思フ

ノデアリマスカラ、此ノ場合軍事費ノ全部ヲ公債財源ニナスト云フコトヘ、誠ニ已ムヲ

得ザルコトデアルト思フノデアリマス、ソ

レニ付キマシテモ考ヘマスコトヘ、此ノ稅制ノ根本整理ト云フモノガ荏苒トシテ今日ニ至ルマデ、マタ其ノ決定、解決ニ至ラザ

ルト云フコトハ誠ニ遺憾ニ思フ次第デアリマス、右申スヤウナ巨額ノ公債ヲ消化致シマスト云フコトヘ、是レ實ニ容易ノコトデハナイト思ヒマス、去リナガラ國民舉シテ

シタナラバ、敢テ決シテ難事デアルトヘ考ヘマセヌ、我ガ國力ヘ優ニ之ニ堪ヘ得ルモノデアルト確信スルノデアリマス、就テハ

此ノ財政ト經濟トノ渾然タル融和、其ノ調整ヲ圖ルガ爲ニ、所謂茲ニ戰時體制ニ應ズル

ニナックノデアリマスガ、今般政府ノ提案サレマシタ答案ニ付テ、其ノ内容ニ付テ精細

ニ吟味致シマシタナラバ、種々ナル議論

ノ餘地モアルト思ヒマス、去リナガラ私ハ
茲ニ時局ノ急ナルニ鑑ミ、何等ノ修正ヲ加
ヘズ、原案ニ賛成セムトスル者デアリマ
ス、但シ絶大ナル權限ヲ政府ニ付與スルモ
ノデアリマスカラ、其ノ運用ニ付テハ經濟
界ニ惡影響ヲ及サザルヤウ、最善ノ注意ヲ
希望スルコトト致シマシテ、本案ニ賛成致
シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 其ノ他ニ御意
見ノ御陳述ハゴザイマセヌデスカ
○森平兵衛君 本員モ希望ヲ述べテ置キタ
イト思フノデアリマスガ、五件モアリマス
ル中ニ、特ニ臨時資金調整法ノ運用ニ當リ
マシテハ、政府ニ於テ十分御注意ヲ願ヒタ
イト思フノデアリマス、其ノ運用ノ如何ニ
依リマシテハ、產業界ヲ萎縮又ハ民心ノ動
搖、或ハ經濟界ニ惡影響ヲ被ルコトガ頗ル
多大デアルト考ヘルノデアリマス、法規ニ
モアリマス通り、相當ナル委員會ヲ御設ケ
ニナッテ、現下ノ時局ニ對應スペク善處ナサ
ルニハ違ヒナイノデアリマスガ、現在ノ社
會情勢ハ各方面ニ不安ノ氣分ノ漲ツテ居ル
モノモアルノデアリマスシ、僅カナコトガ
非常ニ「ショック」ヲ與ヘルコトニナルノデア
リマス、此ノ點ニ付キマシテハ政府ニ於キ
マシテハ、出來得ルダケ深甚ノ御注意ヲ下

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ本案
ノ全部ノ議題ト致シマス、本案ノ全部ニ對
シテ御賛成ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒタウゴザイ
マス

(總員舉手)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 全會一致、本
案ハ可決サレマシタ、是デ本委員會ハ終了
致シマシタ、暑イ所ヲ皆サン御苦勞デゴザ
イマシタ

午後二時三十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君	副委員長 菅原 通敬君	國務大臣
公爵島津 忠重君	大藏大臣 賀屋 興宣君	
公爵山縣 有道君	絲原武太郎君	
侯爵池田 宣政君	糸井 英五君	
子爵前田 利定君	中村圓一郎君	
	森 平兵衛君	
	久恒 貞雄君	
	野村 德七君	
	絲原武太郎君	
	糸井 英五君	
	中村圓一郎君	
	森 平兵衛君	
	久恒 貞雄君	
	野村 德七君	
	絲原武太郎君	

サツテ、此ノ法規ノ運用ニ當ラレムコトヲ

切ニ希望スル者デアリマス、希望ヲ述べマ
シテ本案ニ賛成ヲ致シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御意見ノ
御陳述ハゴザイマセヌデスカ……無ケレバ
採決ニ入リタイト思ヒマス、御異議ハゴザ

イマセヌデセウカ

子爵大河内輝耕君

大藏省主税局長 大矢半次郎君

子爵八條 隆正君

大藏省理財局長 關原 忠三君

子爵高橋 是賢君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

川村 竹治君

大藏省爲替局長 上山 英三君

男爵赤松 均平君

大藏書記官 氏家 武君

男爵矢吹 省三君

預金部資金局長 廣瀬 豊作君

男爵本多 政樹君

商工省工務局長 小島 新一君

男爵山根 健男君

大藏省主計局長 潮 惠之輔君

市來 乙彥君

子爵大河内輝耕君

次田大三郎君

子爵大河内輝耕君

土方 久徵君

子爵大河内輝耕君

深井 英五君

子爵大河内輝耕君

中村圓一郎君

子爵大河内輝耕君

久恒 貞雄君

子爵大河内輝耕君

野村 德七君

子爵大河内輝耕君

糸井 英五君

子爵大河内輝耕君

政府委員

法制局參事官 橋貝 誉三君

子爵大河内輝耕君

大藏政務次官 太田 正孝君

子爵大河内輝耕君

大藏參與官 中村三之丞君

子爵大河内輝耕君

貴族院

昭和十二年九月九日印刷

昭和十二年九月十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局